

◆ 江東区 ◆

中小企業の景況

令和7年度第3四半期

(令和7年10月～12月期)



東京都江東区 夜の豊洲



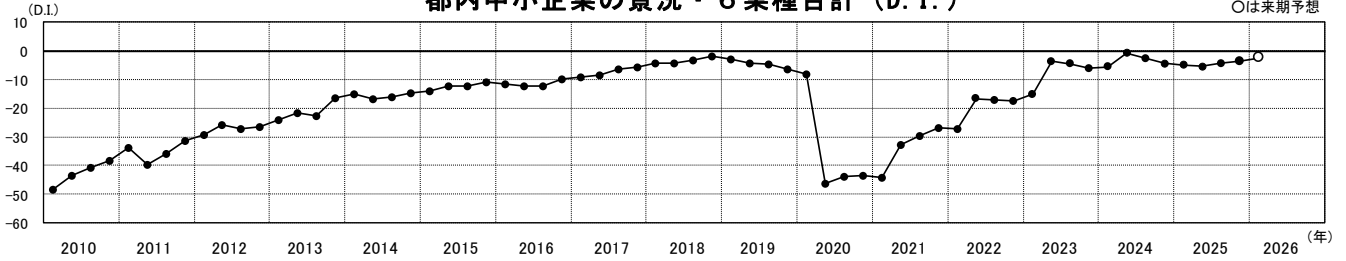
都内中小企業の景況（令和7年10月～12月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況は前期同様の厳しさ続く

都内中小企業の景況・6業種合計（D.I.）

○は来期予想



今期の6業種合計の業況判断DIは、△3.7（前期△4.3）と前期同様の厳しさが続いた。業種別で見ると、卸売業は前期同様の厳しさが続き、建設業はわずかに好調感が後退した。製造業・小売業は水面下ながらわずかに改善し、不動産業は前期並の良好感が続いている。一方、サービス業においては前期同様変化なく推移した。

来期は、製造業、卸売業、小売業において今期同様の厳しさが続き、サービス業は今期同様変化なく推移すると見ている。一方、建設業はわずかに上向き、不動産業は今期並の良好感が続くことと予想している。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-10.1	-7.8	2.3	-6.7	1.1
卸売業	-6.7	-8.4	-1.7	-7.7	0.7
小売業	-13.7	-11.5	2.2	-10.4	1.1
サービス業	-3.0	-2.7	0.3	-1.0	1.7
建設業	11.9	9.3	-2.6	11.9	2.6
不動産業	8.8	10.2	1.4	8.3	-1.9
総合	-4.3	-3.7	0.6	-2.5	1.2

※前期（2025年7～9月） 来期（2026年1～3月）

<製造業>

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額・受注残・収益はいずれも前期並の減少が続いた。業種別では、化学工業、建設用金属が大幅に好調に転じた。一方、ゴム製品においては大幅に悪化を強めた。価格面では販売価格・原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。資金繰りは前期並の苦しさで、人手はわずかに不足感が強まった。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」（38%）、「売上の停滞・減少」（33%）、「人手不足」（19%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」（52%）、「経費を削減する」（43%）、「人材を確保する」（20%）の順となった。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くことと予想している。売上額・受注残はわずかに持ち直し、収益は今期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格・原材料価格ともにやや下降すると予想している。

<卸売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は水面下に落ち込み、収益はやや減少を強めた。業種別では鉱物・金属材料が水面下ながら大幅に改善し、化学製品もわずかに持ち直した。一方、食料品・飲料品においては大幅に悪化を強めた。価格面では販売価格・仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、在庫は前期同様の過剰感が続いた。人手はわずかに不足感を強めた。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」（35%）、2位に「仕入先からの値上げ要請」（24%）が上昇し、3位に「利幅の縮小」（22%）と続いている。重点経営施策は前期同様に「販路を広げる」（58%）、「経費を削減する」（41%）、「人材を確保する」（22%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くことと予想している。売上額は好転し、収益はやや改善すると予想している。価格面では販売価格はわずかに落着きを見せ、仕入価格は大幅に下降すると見ている。

<小売業>

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額はやや持ち直し、収益は前期並の減少が続いた。業種別ではスポーツ用品・玩具が非常に大きく好調に転じ、家具・建具・じゅう器は大幅に上向いた。価格面では販売価格はやや上昇傾向を強め、仕入価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「売上の停滞・減少」（30%）、「仕入先からの値上げ要請」（21%）、「利幅の縮小」（19%）が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「経費を削減する」（44%）、「品揃えを改善する」（25%）、「宣伝・広告を強化する」（20%）と続いている。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くことと予想している。売上額は増減なく推移し、収益は今期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともにわずかに下降すると予想している。

<サービス業>

業況は前期同様変化なく推移した。売上額・収益は増減なく推移した。業種別では娯楽が大幅に好調に転じ、自動車整備・駐車場はわずかに改善した。価格面では料金価格・材料価格ともに前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は1位に「人件費の増加」が上昇し「人手不足」と同率の29%となった。2位に「売上の停滞・減少」（24.1%）が上昇し、3位に「材料価格の上昇」（23%）と続いている。重点経営施策は前期同様に「経費を削減する」（39%）、「販路を広げる」（37%）、「人材を確保する」（29%）が上位を占めた。

来期の業況は今期同様変化なく推移すると予想している。売上額・収益は増減なく推移すると見ている。価格面では料金価格・材料価格ともにわずかに下降すると予想している。

<建設業>

業況はわずかに好調感が後退した。売上額はやや増加傾向が一服し、受注残は前期同様の増加が続いた。施工高・収益はわずかに増加幅を縮小させた。業種別では職別工事がやや悪化した。一方、設備工事はわずかに上向いた。価格面では請負価格・材料価格ともに前期並の上昇が続いている。資金繰りはやや苦しさを強め、人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「材料価格の上昇」（51%）、「人手不足」（42%）、3位に「人件費の増加」が上昇し「売上の停滞・減少」と同率の17%となった。重点経営施策は前期同様に「人材を確保する」（43%）、「経費を削減する」（40%）、「販路を広げる」（36%）の順となった。

来期の業況はわずかに上向きと予想している。売上額・収益はわずかに増加傾向を強め、受注残・施工高は今期同様の増加が続くと見ている。価格面では請負価格は今期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇を弱めると予想している。

<不動産業>

業況は前期並の良好感が続いた。売上額は前期同様の増加が続き、収益はわずかに増加傾向を強めた。業種別では不動産代理・仲介がわずかに上向いた。価格面では販売価格・仕入価格ともにやや上昇傾向を強めた。在庫は前期並の不足感が続き、資金繰りはわずかに窮屈感を脱した。人手は前期並の不足感が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「商品物件の高騰」（36%）、2位に「商品物件の不足」が上昇し「同業者間の競争の激化」と同率の27%となった。重点経営施策は「情報力を強化する」（37%）、2位に「販路を広げる」が上昇し「経費を削減する」と同率の28%、3位に「宣伝・広告を強化する」（22%）と続いている。

来期の業況は今期並の良好感が続くことと予想している。売上額は今期同様の増加が続き、収益は増加傾向がやや一服すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともにわずかに上昇を弱めると予想している。

[注]○D. I (Diffusion Index の略)

D. I (ディー・アイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○D. I. (季節調整済)

季節調整済とは、各期ごとに季節的な変動を繰り返すD. I を過去 5 年間まで遡って季節的な変動を除去して加工したD. I 値です。修正値ともいいます。

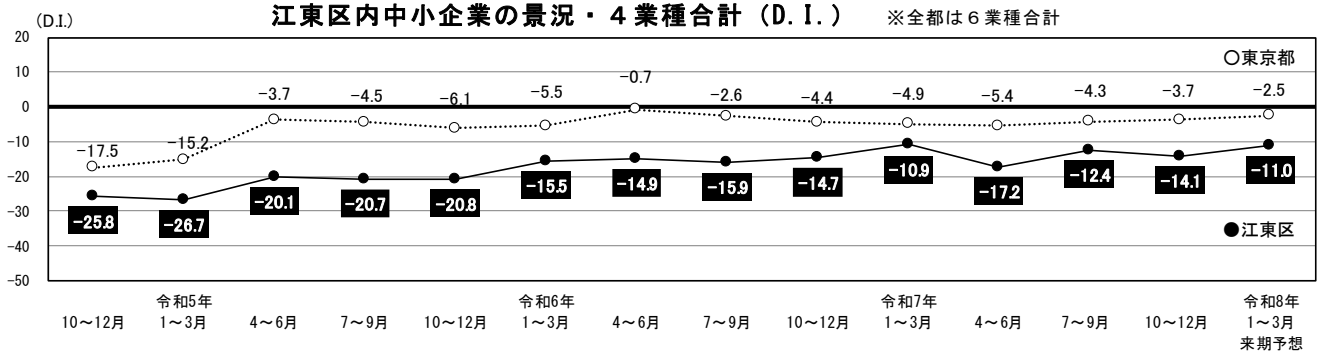
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種 (例えば小売業) ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

江東区内中小企業の景況（令和7年10月～12月）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

**業況（ $\Delta 12.4 \rightarrow \Delta 14.1$ ）は前期並、サービス業はやや悪化した。
～製造業で-1.2ポイント、卸売業で-1.8ポイント、
小売業で0.4ポイント、サービス業で-5.1ポイントとなった～**



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は-14.1（前期は-12.4）と前期並となった。業種別に見ると、製造業で-1.2ポイント、卸売業で-1.8ポイント、小売業で0.4ポイント、サービス業で-5.1ポイントとなり、サービス業はやや悪化し、他の業種は前期並で推移した。

来期の業況判断DIは、やや改善すると予想している。業種別に見ると、製造業は大きく上向き、卸売業はかなり厳しさを増し、小売業は今期並、サービス業は多少良化すると見込んでいる。

	前期	今期	前期との増減	来期予想	今期との増減
製造業	-10.1	-7.8	2.3	-6.7	1.1
卸売業	-6.7	-8.4	-1.7	-7.7	0.7
小売業	-13.7	-11.5	2.2	-10.4	1.1
サービス業	-3.0	-2.7	0.3	-1.0	1.7
建設業	11.9	9.3	-2.6	11.9	2.6
不動産業	8.8	10.2	1.4	8.3	-1.9
総合	-4.3	-3.7	0.6	-2.5	1.2

※前期（令和7年7～9月） 来期（令和8年1～3月）

<製造業>

業況は前期から横這いとなった。売上額、収益は前期並で推移し、受注残はわずかに減少となった。価格面では、販売価格と原材料価格がやや下降した。原材料在庫は若干品薄感が強まった。

来期の業況は大幅に好調感が強まると予想している。売上額、受注残はやや増加し、収益は幾分増益になると見込まれている。販売価格はわずかに上昇し、原材料価格は今期並で推移すると予想している。

<卸売業>

業況は前期から変化なく推移した。売上額は大幅に減少し、収益はわずかに減益となった。価格面では、販売価格、仕入価格は大幅に上昇した。在庫数量は前期並の過剰感となった。

来期の業況は大きく今期を下回ると予想している。売上額は大幅に減少するが、収益は横這いになると見込んでいる。販売価格、仕入価格は大きく下降すると予想している。

<小売業>

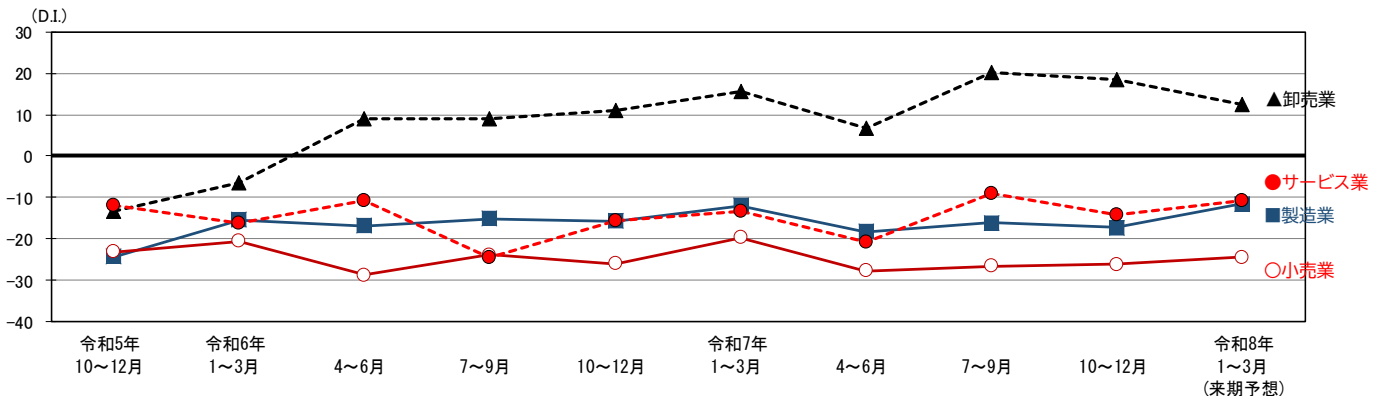
業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は横這い、収益はやや増益となった。価格面では、販売価格、仕入価格は大幅に上昇した。在庫数量はわずかに過剰となり、適正水準から在庫が積み増した。

来期の業況は今回並の厳しさが続く見込まれている。売上額と収益は変化なく推移すると予想している。販売価格、仕入価格は幾分下降すると見込まれている。

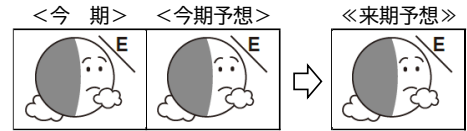
<サービス業>

業況は前期からかなり悪化した。売上額はわずかに減少し、収益は大幅に減益となった。価格面では、料金価格は前期並で推移し、材料価格は若干上昇した。

来期の業況は多少好調感が増すと見込まれている。売上額はやや減少し、収益は今期並になると予想している。料金価格、材料価格はわずかに下降すると見込まれている。



製造業



売上額・受注残・収益の動向と業況判断

業況は前期△16.1 から今期△17.3 とほぼ横這いとなった。売上額（前期△5.5 から今期△6.4）は変化なく推移し、受注残（前期△4.3 から今期△6.6）はやや減少した。収益（前期△5.7 から今期△6.1）は前期並となった。

価格・在庫動向

販売価格（前期 6.7 から今期 3.2）はやや下降した。原材料価格（前期 19.8 から今期 15.1）はわずかに下降し、原材料在庫は前期△3.0 から今期△5.6 と若干不足感が強まった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（前期△9.2 から今期△7.2）は多少厳しさが和らぎ、借入難易度（前期△8.2 から今期△6.1）は幾分窮屈感が弱まった。今期借入をした・または予定ありの企業は 9.7%で、前期の 13.3%より 3.6 ポイント減少し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 7.5%で、前期の 6.1%より 1.4 ポイント増加した。

経営上の問題点・重点経営施策

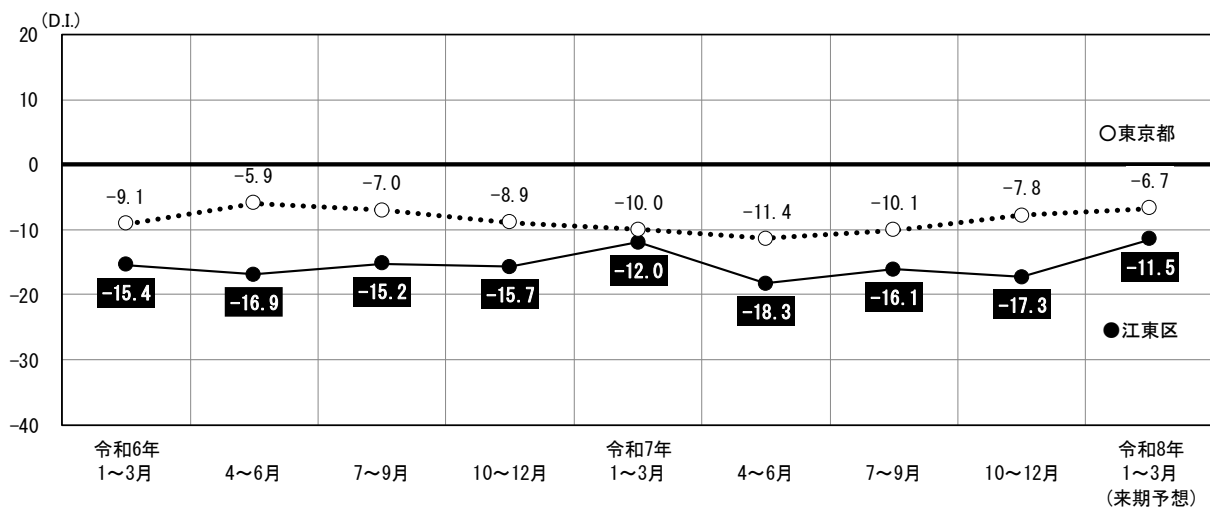
経営上の問題点は、「原材料高」が24.5%で最多となり、次いで「売上の停滞・減少」が21.3%、「同業者間の競争の激化」が14.9%と続いている。

重点経営施策は、「経費を節減する」が40.4%で最多となり、次いで「販路を広げる」が36.2%、「情報力を強化する」が12.8%となった。

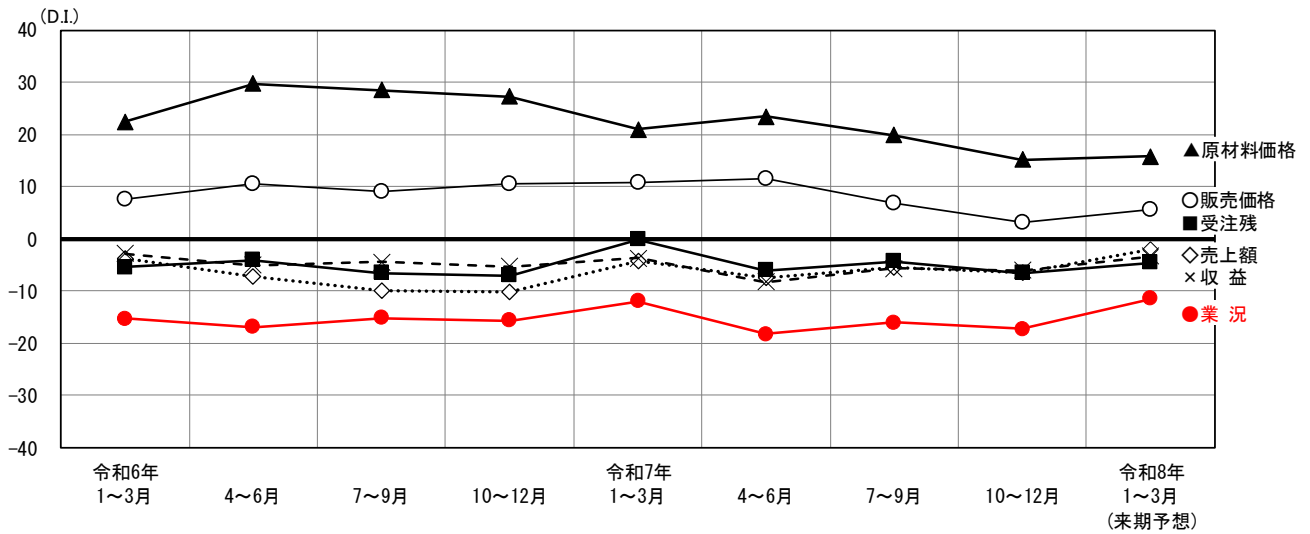
来期の見通し

来期の見通しは、業況（△11.5予想）は大きく上向くと予想している。売上額（△2.1予想）、受注残（△4.6予想）はやや増加、収益（△3.4予想）は若干増益になると見込まれている。販売価格（5.7予想）は幾分上昇し、原材料価格（15.8予想）は今期並になると予想している。

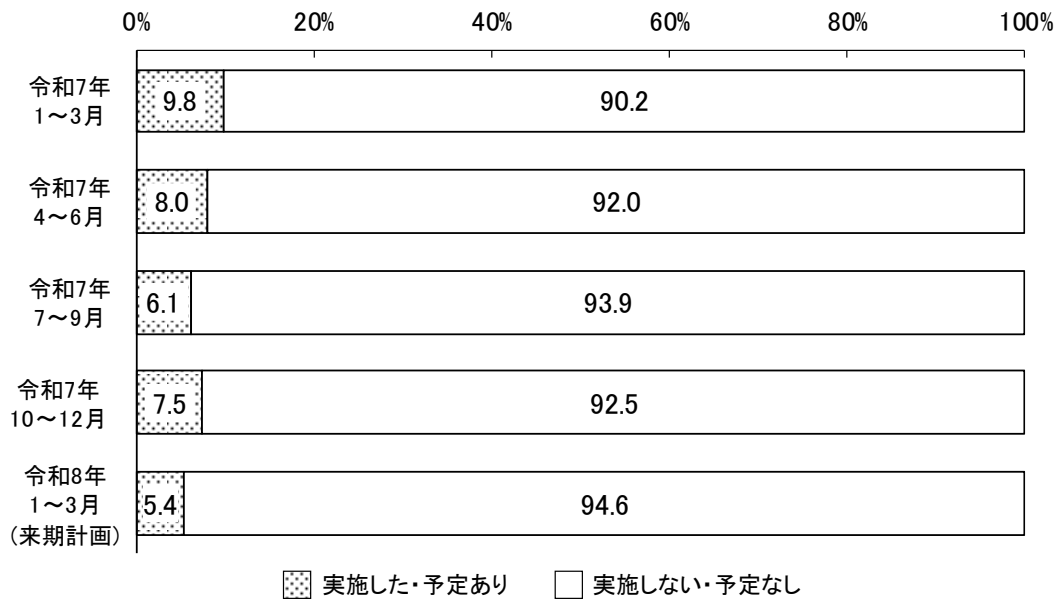
江東区と全都の製造業・業況の動き（実績）と来期の予測



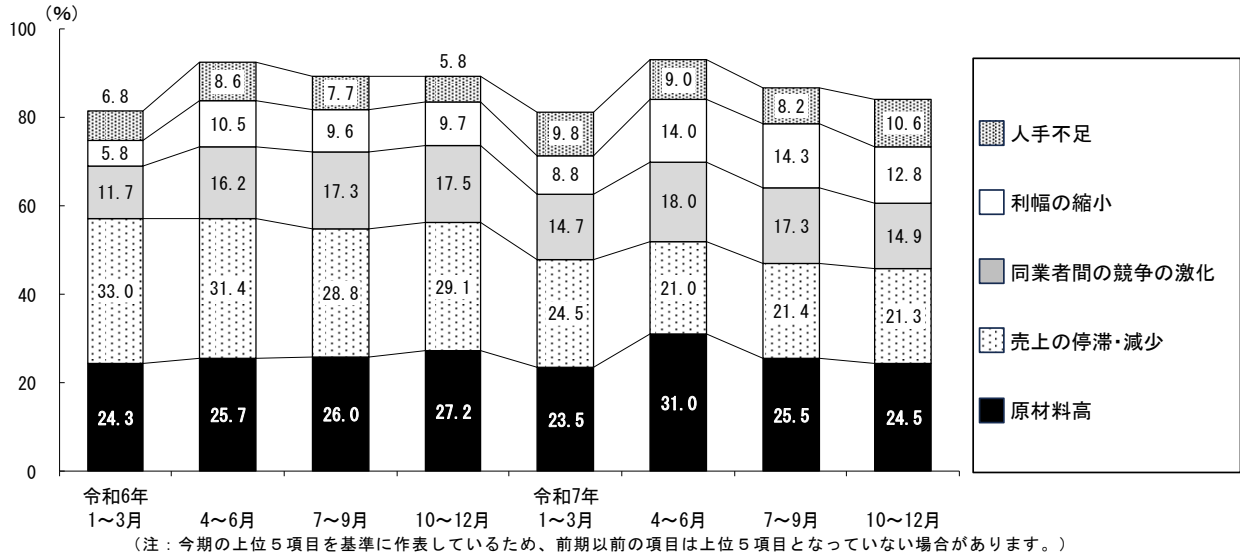
【製造業】業況と売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



【製造業】設備投資動向

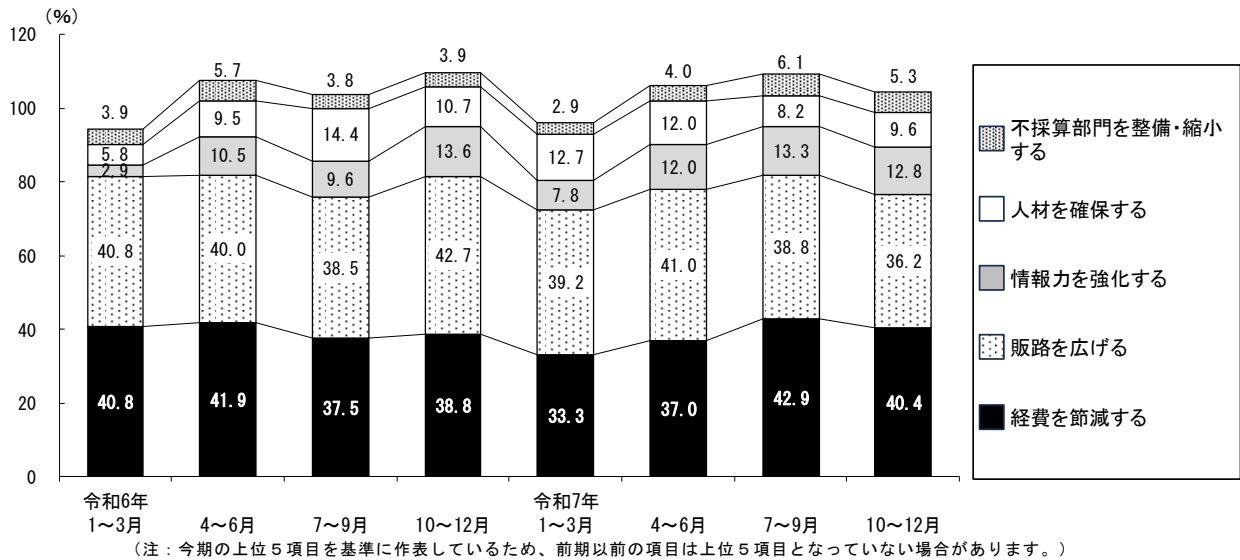


【製造業】 経営上の問題（％）



令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期		令和7年10～12月期	
売上の停滞・減少	24.5%	原材料高	31.0%	原材料高	25.5%	原材料高	24.5%
原材料高	23.5%	売上の停滞・減少	21.0%	売上の停滞・減少	21.4%	売上の停滞・減少	21.3%
同業者間の競争の激化	14.7%	同業者間の競争の激化	18.0%	同業者間の競争の激化	17.3%	同業者間の競争の激化	14.9%
人手不足	9.8%	利幅の縮小	14.0%	利幅の縮小	14.3%	利幅の縮小	12.8%
利幅の縮小	8.8%	人手不足	9.0%	仕入先からの値上げ要請	11.2%	人手不足	10.6%

【製造業】 重点経営施策（％）



令和7年1～3月期		令和7年4～6月期		令和7年7～9月期		令和7年10～12月期	
販路を広げる	39.2%	販路を広げる	41.0%	経費を節減する	42.9%	経費を節減する	40.4%
経費を節減する	33.3%	経費を節減する	37.0%	販路を広げる	38.8%	販路を広げる	36.2%
人材を確保する	12.7%	人材を確保する 情報力を強化する	12.0%	情報力を強化する	13.3%	情報力を強化する	12.8%
情報力を強化する	7.8%	情報力を強化する	4.0%	人材を確保する	8.2%	人材を確保する	9.6%
不採算部門を整理・縮小する 提携先を見つける	2.9%	不採算部門を整理・縮小する 機械化を推進する	4.0%	不採算部門を整理・縮小する	6.1%	不採算部門を整理・縮小する	5.3%

製造業 業種別動向

■ 繊維工業、衣服、その他繊維製品

業況（前期 $\Delta 33.3$ →今期 $\Delta 37.5$ ）はやや悪化した。売上額（ $\Delta 46.3$ → $\Delta 52.7$ ）は大きく減少し、収益（ $\Delta 46.3$ → $\Delta 52.7$ ）も大幅に減益となった。販売価格（ $\Delta 46.3$ → $\Delta 52.7$ ）と原材料価格（ $\Delta 45.1$ → $\Delta 51.6$ ）はどちらも大きく下降した。原材料在庫（ $\Delta 46.3$ → $\Delta 52.7$ ）は大幅に品薄感が強まり、資金繰り（ $\Delta 44.4$ → $\Delta 51.1$ ）はかなり苦しさが増した。

■ 木材、木製品

業況（前期 $\Delta 48.8$ →今期 $\Delta 48.6$ ）は前期並となった。売上額（ $\Delta 34.7$ → $\Delta 25.7$ ）は大きく増加し、収益（ $\Delta 25.7$ → $\Delta 8.3$ ）も大幅に増益となった。販売価格（ $\Delta 12.7$ → $\Delta 3.9$ ）はかなり上昇し、原材料価格（ $\Delta 5.6$ → $\Delta 3.5$ ）はわずかに上昇した。原材料在庫（ $\Delta 4.6$ → $\Delta 0.8$ ）は多少品薄感が解消されて適正水準となり、資金繰り（ $\Delta 10.6$ → $\Delta 6.5$ ）はわずかに窮屈感が和らいだ。

■ 出版、印刷、製版、製本業

業況（前期 $\Delta 29.5$ →今期 $\Delta 14.4$ ）は大幅に好調感を強めた。売上額（ $\Delta 16.4$ → $\Delta 6.9$ ）は大幅に増加し、収益（ $\Delta 10.7$ → $\Delta 6.4$ ）はやや増益となった。販売価格（ 6.5 → 6.0 ）は横這いで推移し、原材料価格（ 15.1 → 27.0 ）は大きく上昇した。原材料在庫（ $\Delta 1.5$ → 2.8 ）は多少過剰となり在庫過多へと転じた。資金繰り（ $\Delta 15.6$ → $\Delta 0.8$ ）は大幅に厳しさが和らいだ。

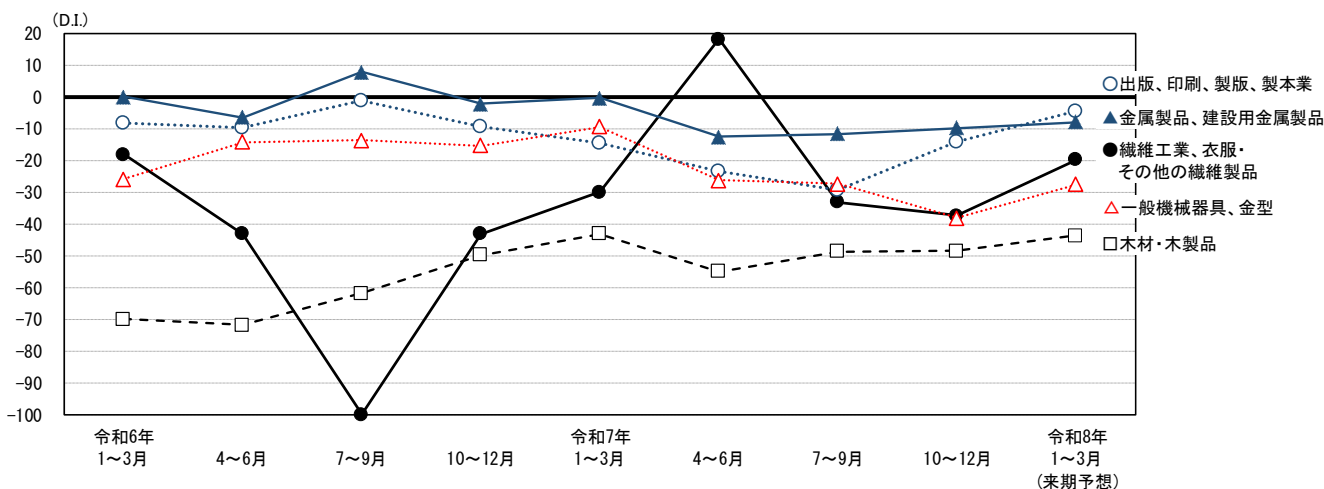
■ 金属製品、建設用金属製品

業況（前期 $\Delta 11.7$ →今期 $\Delta 9.9$ ）は前期並の厳しさとなった。売上額（ 3.4 → $\Delta 5.0$ ）は大きく減少し、収益（ 1.4 → $\Delta 5.7$ ）はかなり減益となった。販売価格（ 10.4 → 15.7 ）は大幅に上昇し、原材料価格（ 30.7 → 33.1 ）はわずかに上昇した。原材料在庫（ $\Delta 0.3$ → $\Delta 3.5$ ）はやや品薄感が強まった。資金繰り（ $\Delta 11.1$ → $\Delta 0.5$ ）は大幅に窮屈感が緩和した。

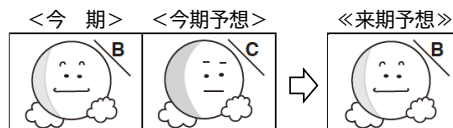
■ 一般機械器具、金型

業況（前期 $\Delta 27.5$ →今期 $\Delta 38.3$ ）はかなり悪化した。売上額（ $\Delta 3.2$ → $\Delta 15.0$ ）は大きく減少し、収益（ $\Delta 26.3$ → $\Delta 32.5$ ）は大幅に減益となった。販売価格（ $\Delta 22.8$ → $\Delta 28.1$ ）は大きく下降し、原材料価格（ 61.9 → $\Delta 1.1$ ）は非常に大きく下降した。原材料在庫（ 1.5 → $\Delta 23.5$ ）は極端に品薄感が強まり、資金繰り（ $\Delta 25.7$ → $\Delta 26.0$ ）は前期並の苦しさとなった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



卸売業



売上・収益の動向と業況判断

業況は前期20.3 から今期18.5 と横這いで推移した。売上額は前期11.2 から今期6.0と大幅に減少し、収益は前期△3.1 から今期△6.1と若干減益となった。

価格・在庫動向

販売価格は前期 19.2 から今期 31.3と大きく上昇した。仕入価格は前期 45.1 から今期 51.9とかなり上昇した。在庫数量は前期8.7から今期9.1とほぼ横這いとなった。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰り（前期5.8から今期0.7）はかなり苦しさが強まり、借入難易度（前期△5.2 から今期15.8）は極端に容易さが増した。今期借入をした・または予定ありの企業は 14.3%で、前期同様となり、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 23.8%で、前期の 20.0%より 3.8 ポイント増加した。

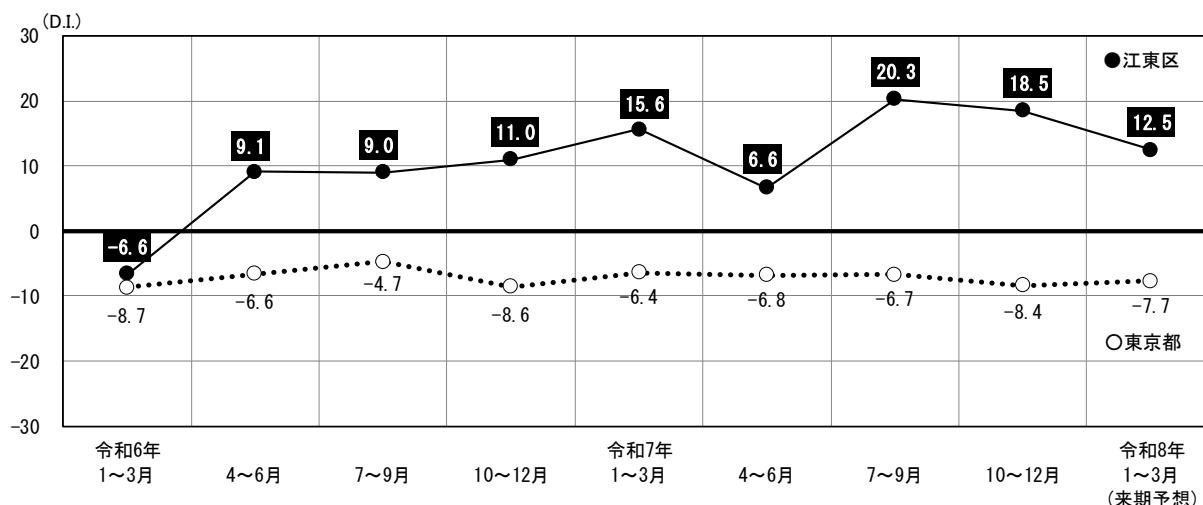
経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、「仕入先からの値上げ要請」が31.8%で最多となり、次いで「利幅の縮小」、「同業者間の競争の激化」が18.2%、「人手不足」、「売上の停滞・減少」が13.6%と続いている。重点経営施策は、「販路を広げる」が36.4%で最多となり、次いで「経費を節減する」が31.8%、「情報力を強化する」が22.7%となった。

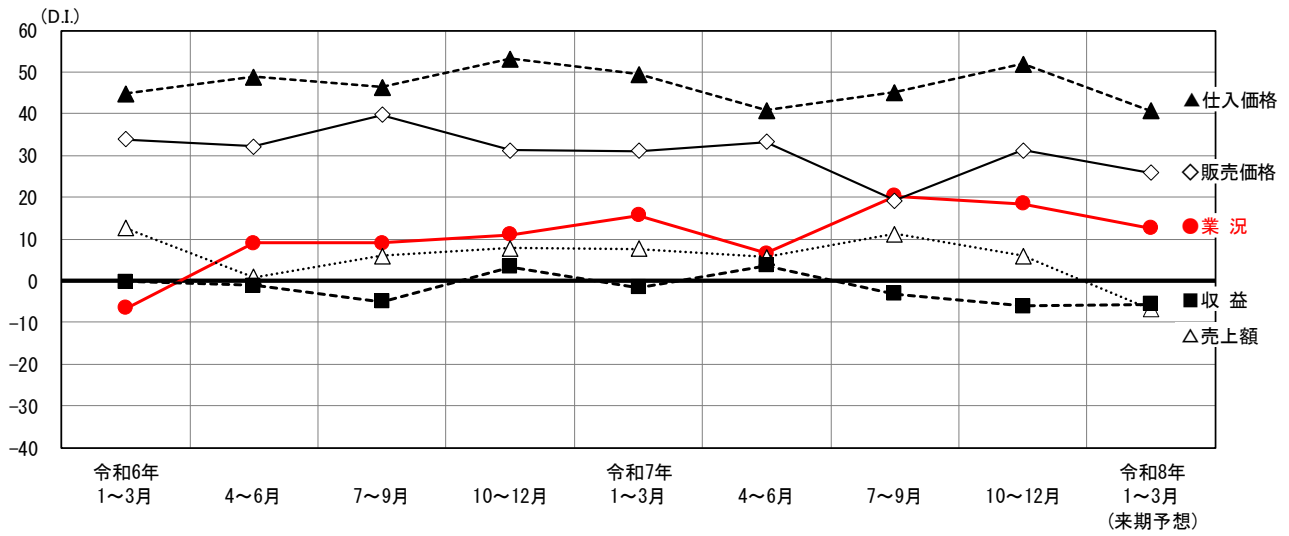
来期の見通し

来期の見通しは、業況（12.5予想）は大きく悪化すると予想している。売上額（△6.8予想）は大幅に下降し、収益（△5.7予想）は今期並で推移すると見込まれている。販売価格（25.9予想）はかなり下降し、仕入価格（40.6予想）は大幅に下降すると予想している。

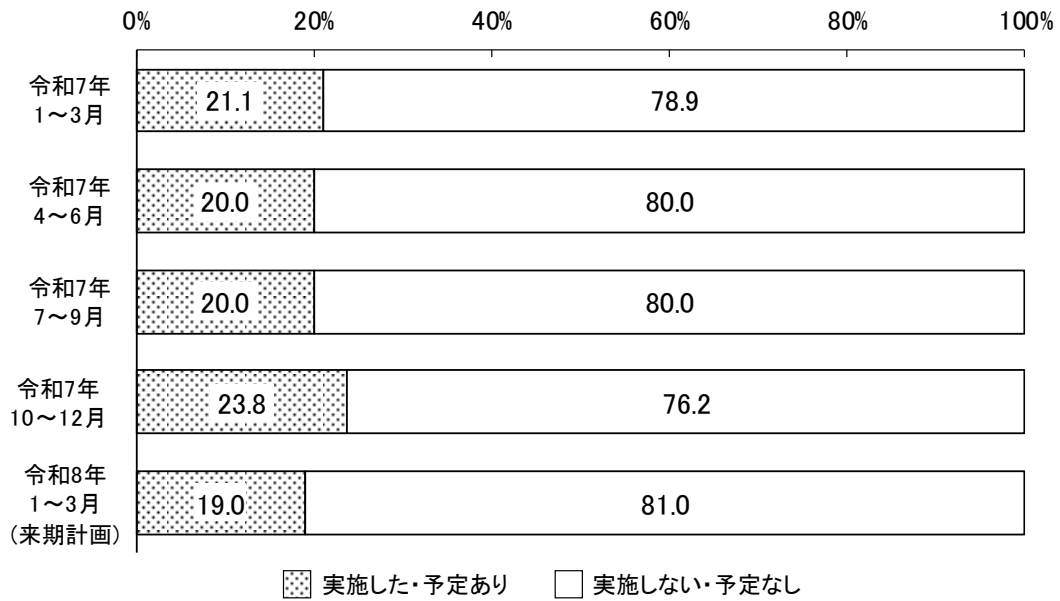
江東区と全都の卸売業・業況の動き（実績）と来期の予測



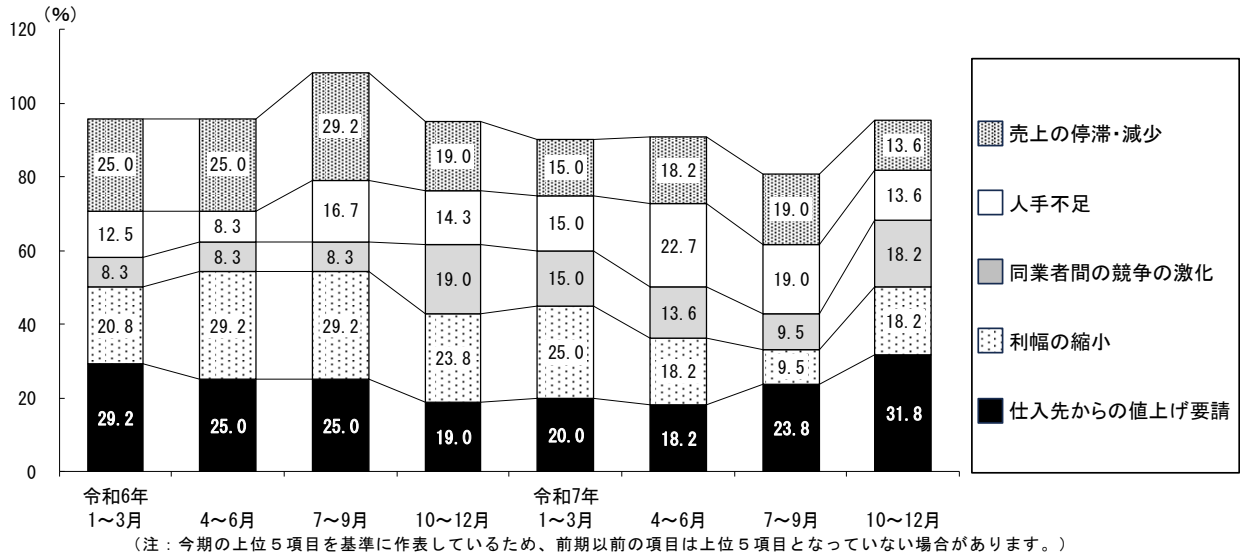
【卸売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【卸売業】 設備投資動向

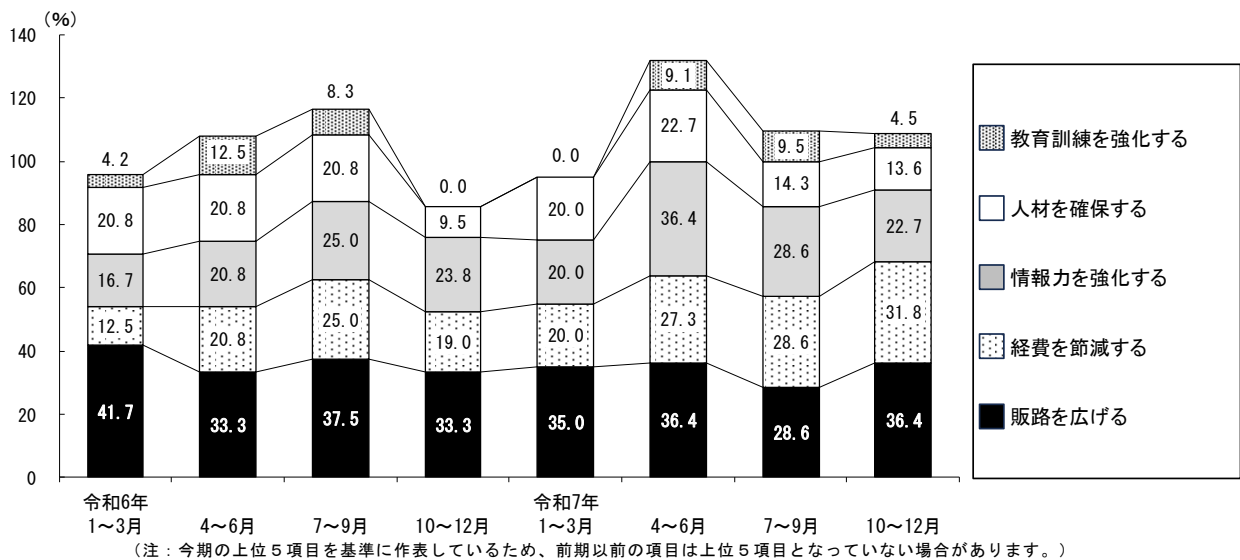


【卸売業】 経営上の問題 (%)



令和7年1~3月期		令和7年4~6月期		令和7年7~9月期		令和7年10~12月期	
利幅の縮小	25.0%	人手不足	22.7%	仕入先からの値上げ要請	23.8%	仕入先からの値上げ要請	31.8%
仕入先からの値上げ要請	20.0%	利幅の縮小 仕入先からの値上げ要請 売上の停滞・減少	18.2%	人手不足 売上の停滞・減少	19.0%	利幅の縮小 同業者間の競争の激化	18.2%
同業者間の競争の激化 人手不足 売上の停滞・減少	15.0%	同業者間の競争の激化 人件費の増加	13.6%	販売商品の不足	14.3%	人手不足 売上の停滞・減少	13.6%

【卸売業】 重点経営施策 (%)



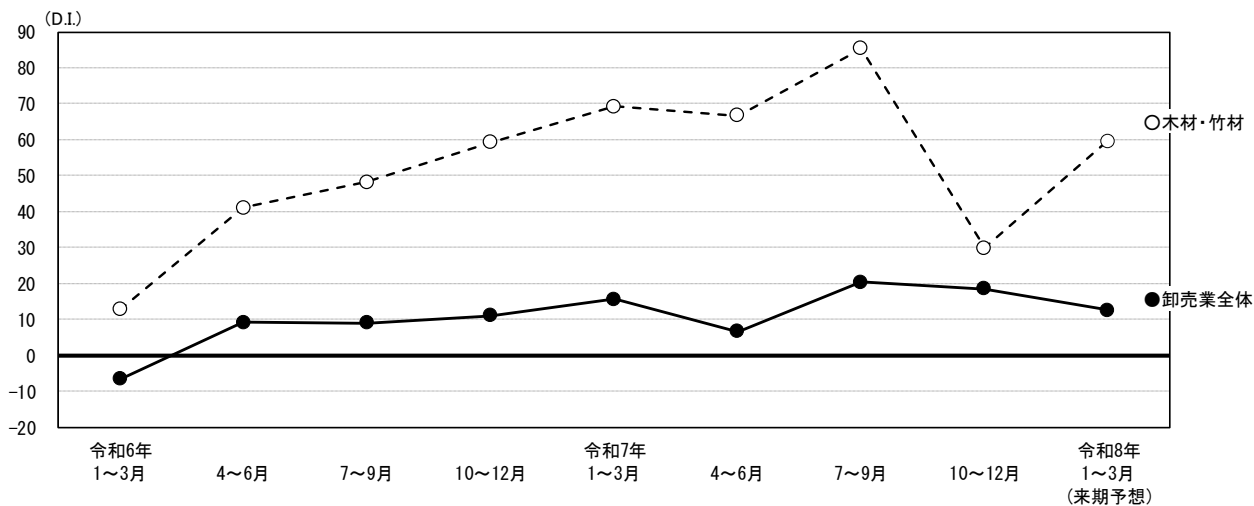
令和7年1~3月期		令和7年4~6月期		令和7年7~9月期		令和7年10~12月期	
販路を広げる	35.0%	販路を広げる 情報力を強化する	36.4%	販路を広げる 情報力を強化する 経費を節減する	28.6%	販路を広げる	36.4%
人材を確保する 情報力を強化する 経費を節減する	20.0%	経費を節減する	27.3%	経費を節減する	22.7%	経費を節減する	31.8%
		人材を確保する	22.7%	人材を確保する	14.3%	情報力を強化する	22.7%
流通経路の見直しをする	15.0%	教育訓練を強化する	9.1%	教育訓練を強化する	9.5%	教育訓練を強化する 流通経路の見直しをする 機械化を推進する 労働条件を改善する 提携先を見つける 品揃えを充実させる	4.5%

卸売業 業種別動向

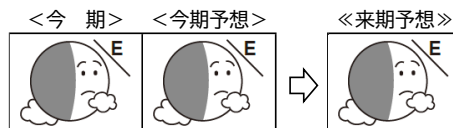
■ 木材、竹材

業況（前期85.4→今期29.8）は極端に悪化した。売上額（66.7→17.5）は大幅に減少し、収益（57.9→16.7）は極端に減益となった。販売価格（32.5→8.2）と仕入価格（87.1→41.3）は非常に大きく下降した。在庫数量（34.4→△3.6）は極端に品薄感が強まり過剰から品薄へと転じた。資金繰り（27.1→△7.2）は極端に厳しくなった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



小 売 業



売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△26.6 から今期△26.2 と前期並となった。売上額は前期△21.4 から今期△21.8 と変化なく、収益は前期△27.8 から今期△23.3 とやや増益となった。

価格・在庫動向

販売価格は前期 6.4 から今期 17.1 と大きく上昇し、仕入価格は前期 24.7 から今期 32.3 と大幅に上昇した。在庫数量は前期△1.5 から今期 2.6 とやや過剰となり在庫過多に転じた。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△9.6 から今期△6.6 とやや容易さが増し、借入難易度は前期△10.3 から今期△13.8 とわずかに窮屈感が強まった。今期借入をした・または予定ありの企業は 8.8%で、前期の 5.7%より 3.1 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 0.0%で、前期の 3.0%から 3.0 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

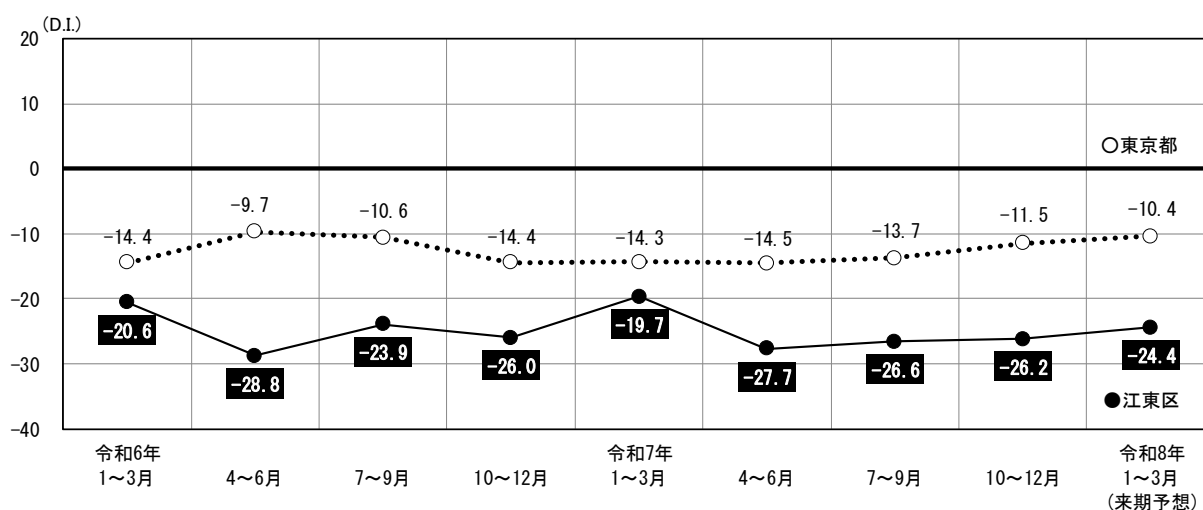
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」が37.1%で最多となり、次いで「仕入先からの値上げ要請」が17.1%、「同業者間の競争の激化」が14.3%と続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が31.4%で最多となり、次いで「宣伝・広告を強化する」が14.3%、「売れ筋商品を取り扱う」、「品揃えを改善する」が11.4%となった。

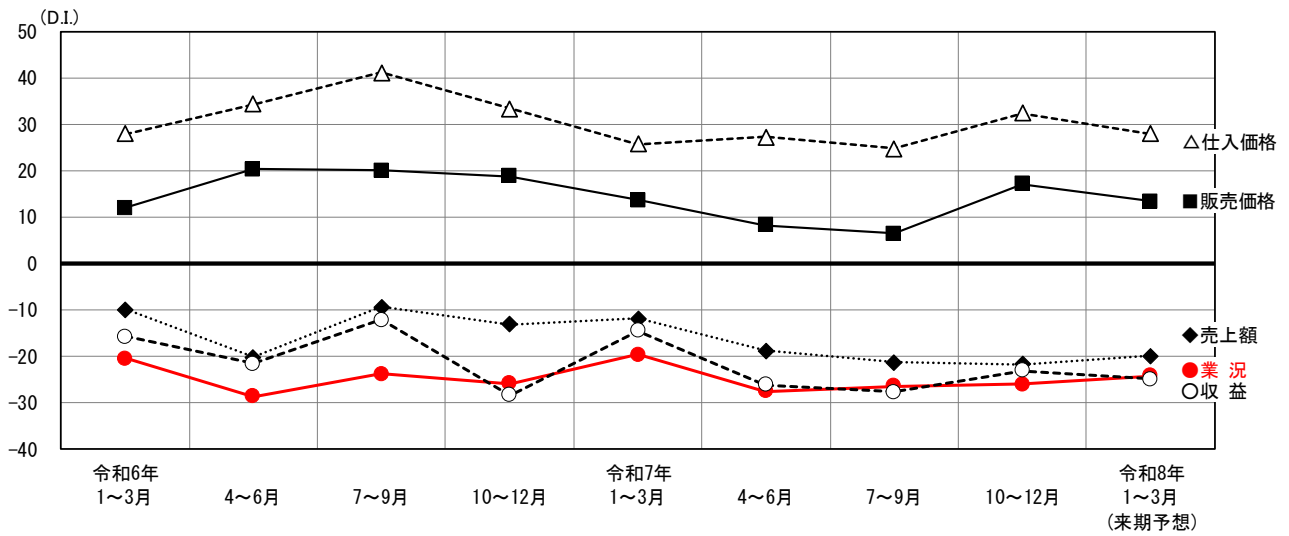
来 期 の 見 通 し

来期の見通しは、業況（△24.4予想）は今期並で推移すると予想している。売上額（△20.0予想）は変化なく、収益（△25.0予想）は横這いになると見込まれている。販売価格（13.3予想）と仕入価格（27.8予想）は幾分下降すると予想している。

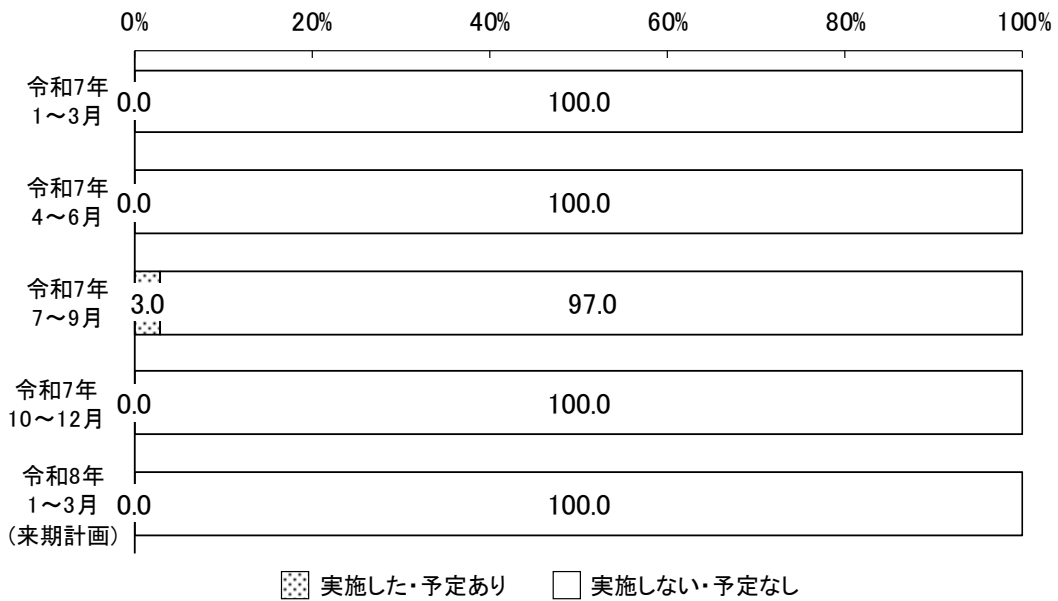
江東区と全都の小売業・業況の動き（実績）と来期の予測



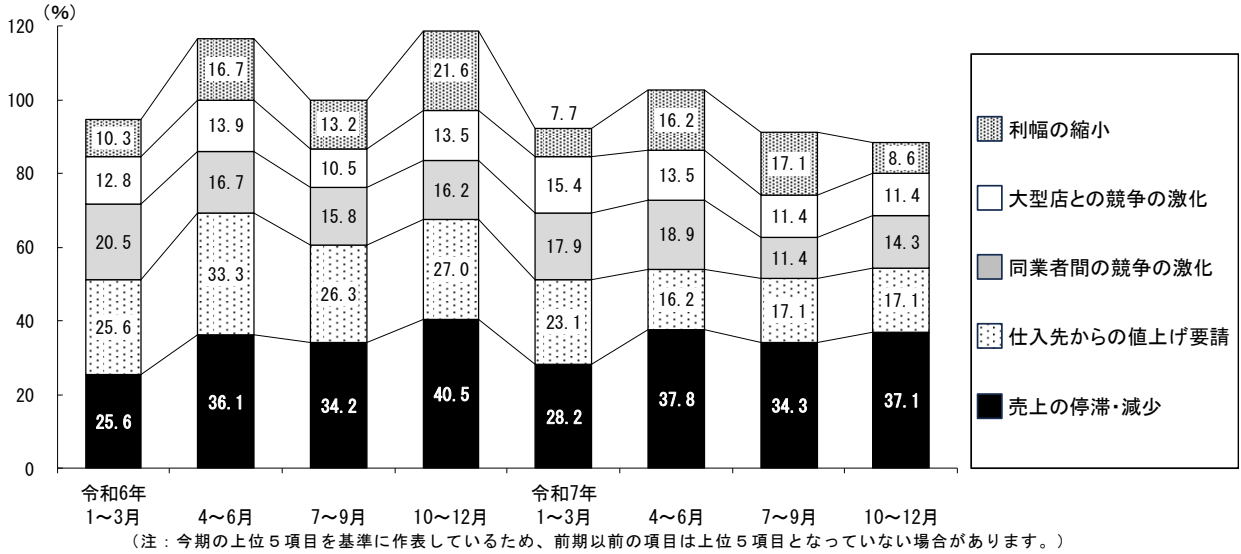
【小売業】 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測



【小売業】 設備投資動向

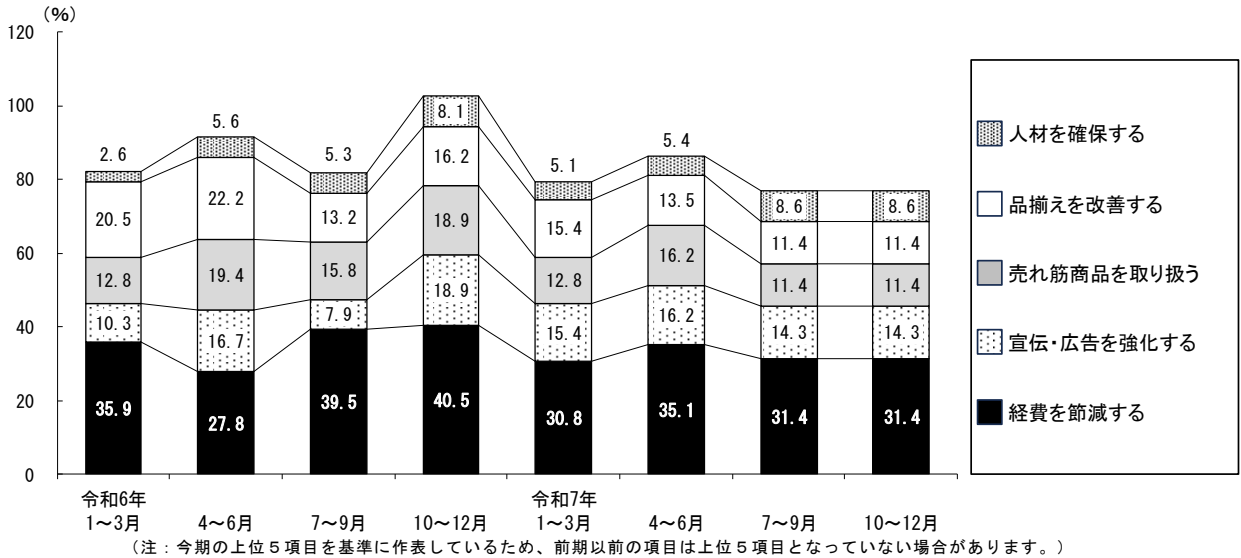


【小売業】 経営上の問題 (%)



期	売上の停滞・減少	仕入先からの値上げ要請	同業者間の競争の激化	大型店との競争の激化	商店街の集客力の低下 人手不足 利幅の縮小 人件費の増加
令和7年1~3月期	28.2%	23.1%	17.9%	15.4%	
令和7年4~6月期	37.8%	同業者間の競争の激化 仕入先からの値上げ要請 利幅の縮小	18.9%	16.2%	7.7% 大型店との競争の激化
令和7年7~9月期	34.3%	仕入先からの値上げ要請 利幅の縮小	17.1%	11.4%	同業者間の競争の激化 大型店との競争の激化
令和7年10~12月期	37.1%	仕入先からの値上げ要請	17.1%	11.4%	利幅の縮小 人件費の増加

【小売業】 重点経営施策 (%)



期	経費を節減する	宣伝・広告を強化する	売れ筋商品を取り扱う	品揃えを改善する	商店街事業を活性化させる
令和7年1~3月期	30.8%	15.4%	12.8%	20.5%	7.7% 商店街事業を活性化させる
令和7年4~6月期	35.1%	16.2%	13.5%	13.5%	10.8% 商店街事業を活性化させる
令和7年7~9月期	31.4%	14.3%	11.4%	11.4%	8.6% 商店街事業を活性化させる 人材を確保する
令和7年10~12月期	31.4%	14.3%	11.4%	11.4%	8.6% 人材を確保する

小売業 業種別動向

■ 衣類、呉服、身の回り品

業況（前期 $\Delta 48.0$ →今期 $\Delta 53.8$ ）は大きく悪化した。売上額（ $\Delta 46.6$ → $\Delta 51.6$ ）はかなり減少し、収益（ $\Delta 71.2$ → $\Delta 74.9$ ）は多少減益となった。販売価格（ $\Delta 4.6$ → 17.6 ）は非常に大きく上昇し、仕入価格（ 56.7 → 57.0 ）は前期並となった。在庫数量（ $\Delta 7.2$ → $\Delta 2.3$ ）はわずかに不足感が改善し、資金繰り（ $\Delta 5.4$ → $\Delta 10.2$ ）は若干厳しさが増した。

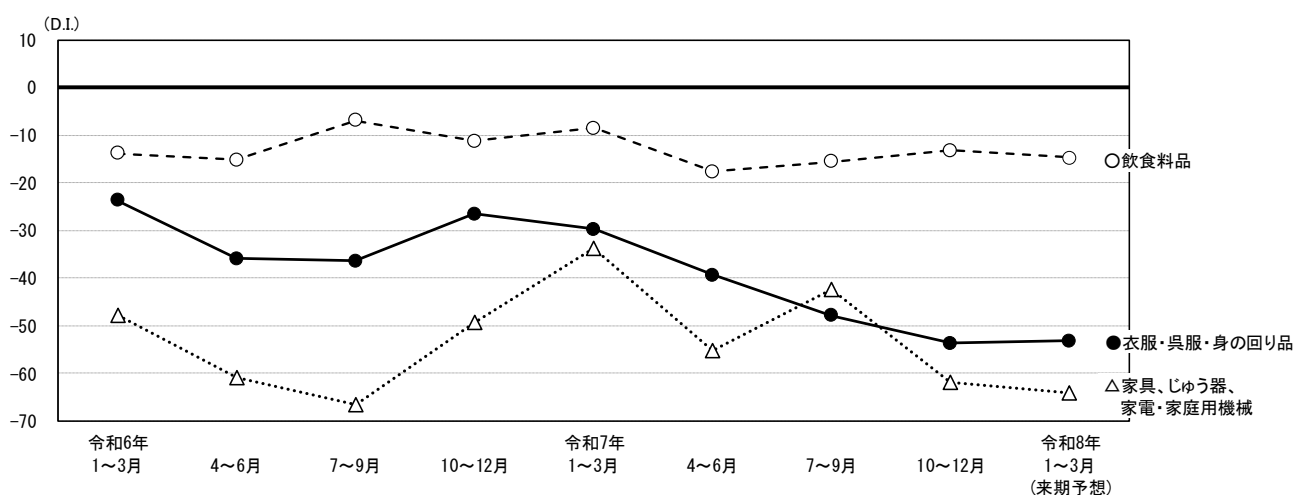
■ 飲食料品

業況（前期 $\Delta 15.6$ →今期 $\Delta 13.3$ ）はわずかに改善した。売上額（ $\Delta 12.3$ → $\Delta 13.8$ ）は変化なく、収益（ $\Delta 17.7$ → $\Delta 18.0$ ）も横這いとなった。販売価格（ 13.2 → 15.5 ）と仕入価格（ 19.0 → 21.2 ）はやや上昇した。在庫数量（ $\Delta 0.2$ → $\Delta 1.8$ ）は適正水準で推移し、資金繰り（ $\Delta 10.8$ → $\Delta 12.1$ ）は前期並となった。

■ 家具、じゅう器、家電・家庭用機械

業況（前期 $\Delta 42.4$ →今期 $\Delta 62.0$ ）は大幅に悪化した。売上額（ $\Delta 32.7$ → $\Delta 42.9$ ）は大きく減少し、収益（ $\Delta 34.7$ → $\Delta 39.0$ ）は若干減益となった。販売価格（ 10.3 → 37.1 ）は極端に上昇し、仕入価格（ 30.2 → 43.1 ）は大きく上昇した。在庫数量（ $\Delta 5.6$ → $\Delta 2.6$ ）はやや品薄感が改善し、資金繰り（ $\Delta 4.3$ → $\Delta 3.5$ ）は横這いとなった。

業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



サービス業



売上・収益の動向と業況判断

業況は前期△9.0 から今期△14.1 とかなり悪化した。売上額は前期△4.2 から今期△7.0とわずかに減少し、収益は前期△8.5 から今期△15.6 と大きく減益となった。

価 格 動 向

料金価格は前期 6.4 から今期 5.6 と前期並で推移し、材料価格は前期 13.5 から今期 17.5 と若干上昇した。

資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは前期△6.3 から今期△9.2 とやや苦しさが強まった。借入難易度は前期△13.7 から今期△13.6 と前期並の苦しさとなった。今期借入をした・または予定ありの企業は 3.7%で、前期の 3.6%より 0.1 ポイント増加し、設備投資を実施した・または予定ありの企業は 7.4%で、前期の 10.3%より 2.9 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

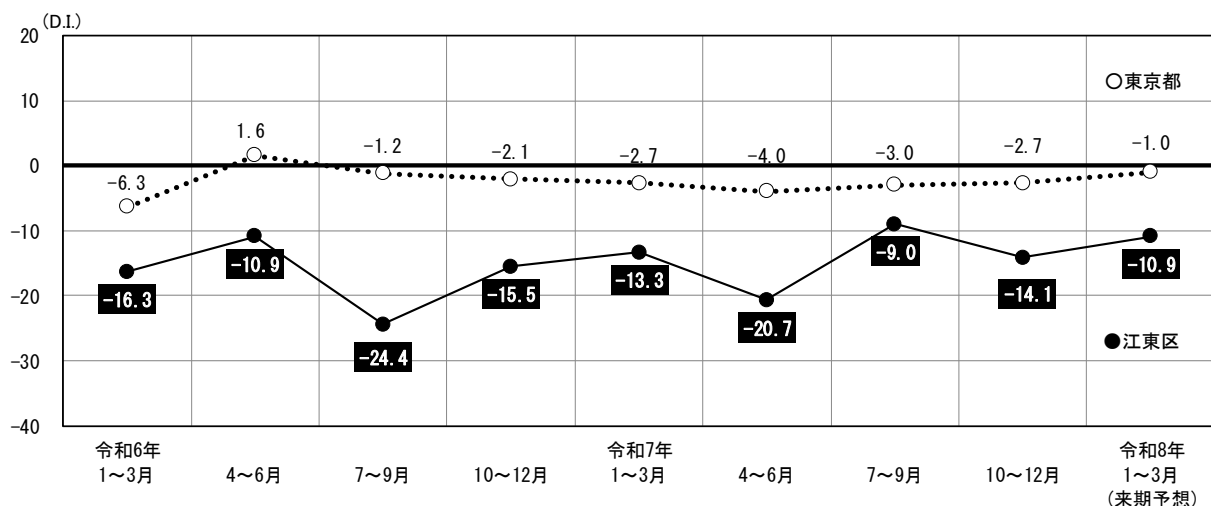
経営上の問題点は、「同業者間の競争の激化」が28.6%で最多となり、次いで「材料価格の上昇」、「売上の停滞・減少」が17.9%、「利幅の縮小」、「大企業との競争の激化」、「店舗・設備の狭小・老朽化」が7.1%と続いた。

重点経営施策は、「経費を節減する」が39.3%で最多となり、次いで「販路を広げる」が32.1%、「宣伝・広告を強化する」が17.9%となった。

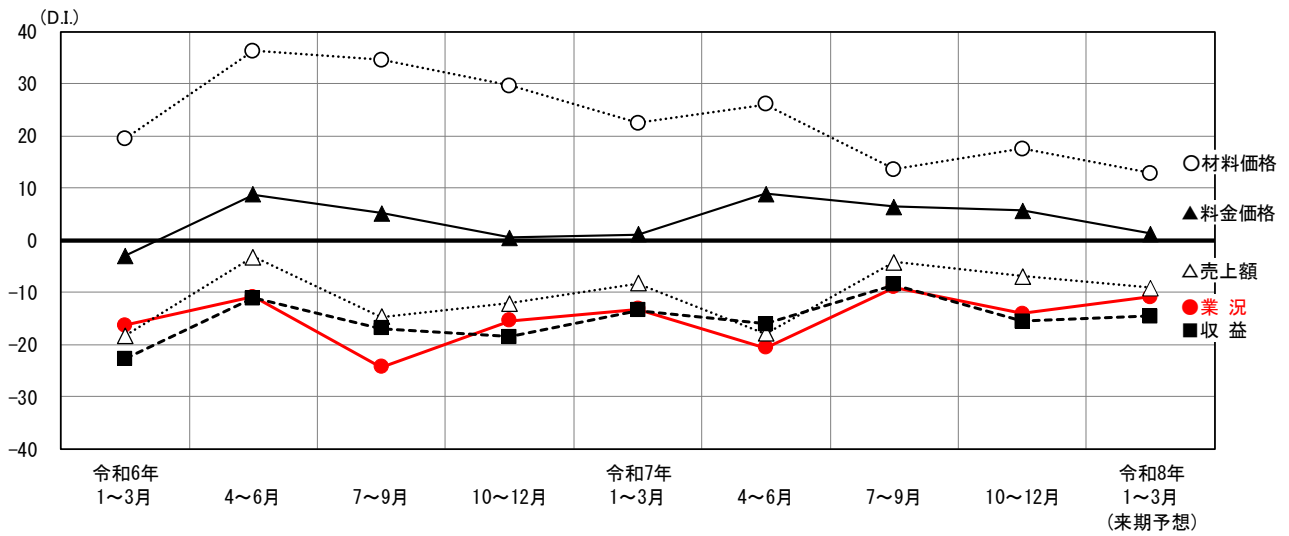
来 期 の 見 通 し

来期の見通しは、業況（△10.9予想）はやや改善すると予想している。売上額（△9.2予想）はわずかに減少し、収益（△14.6予想）は今期並になると見込まれている。料金価格（1.2予想）と材料価格（12.8予想）は多少下降すると予想している。

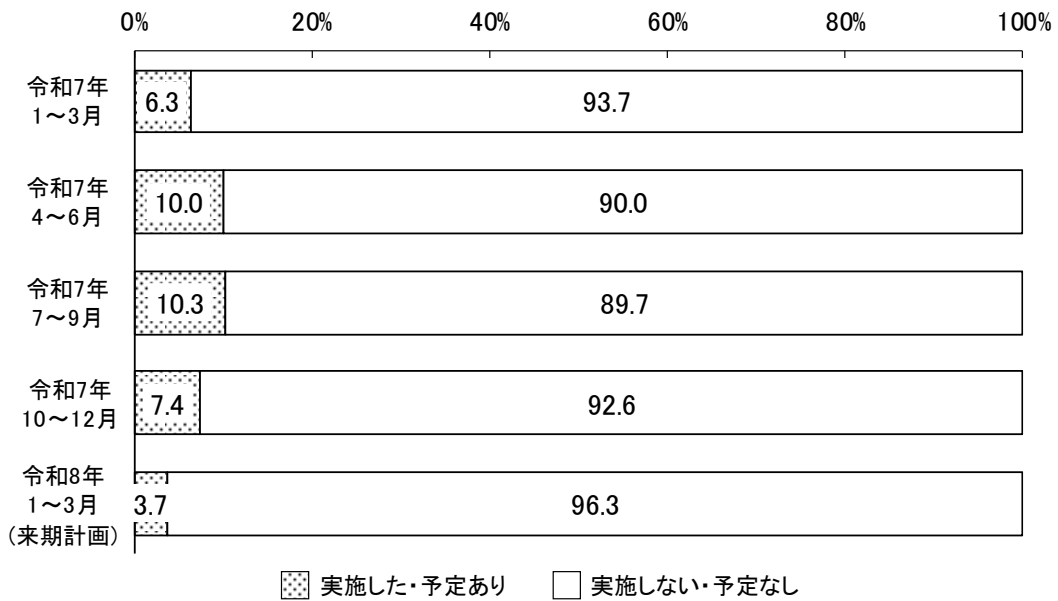
江東区と全都のサービス・業況の動き（実績）と来期の予測



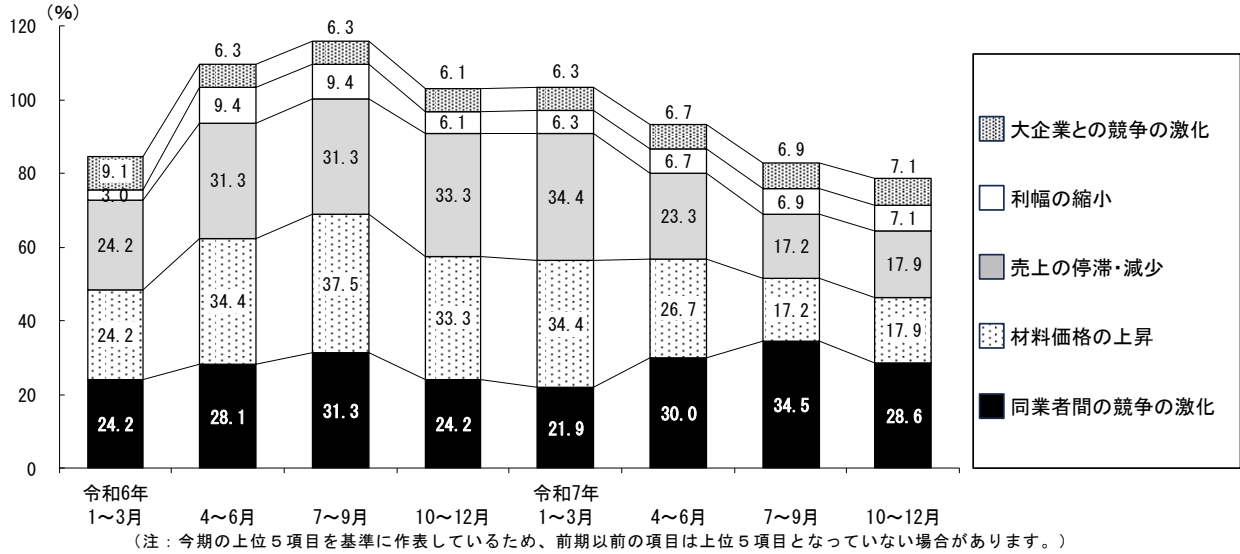
【サービス業】 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測



【サービス業】 設備投資動向

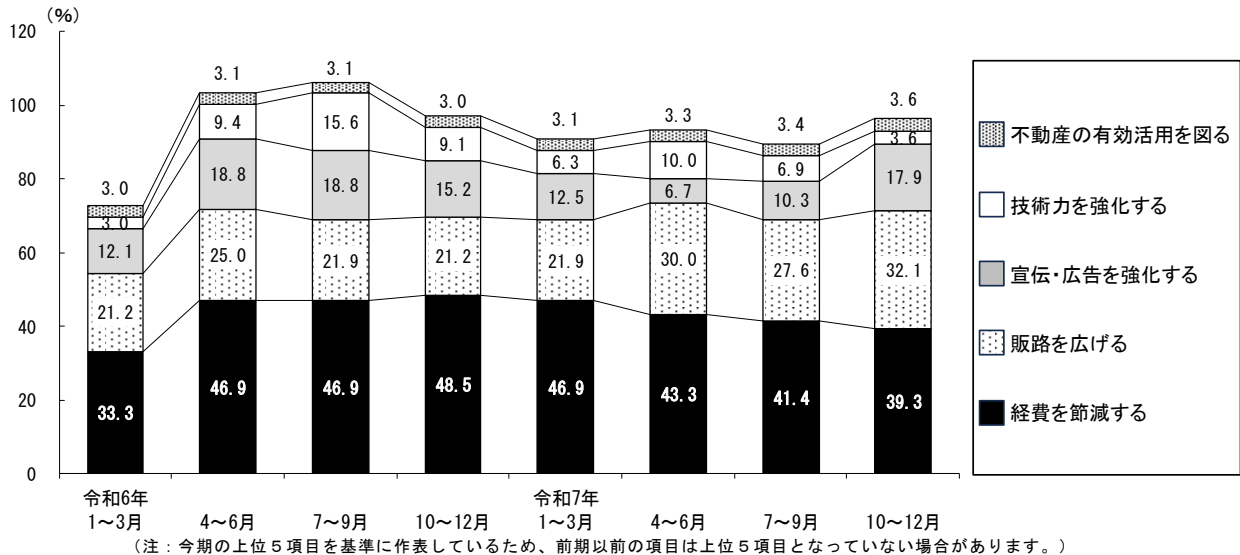


【サービス業】 経営上の問題 (%)



令和7年1~3月期		令和7年4~6月期		令和7年7~9月期		令和7年10~12月期	
材料価格の上昇 売上の停滞・減少	34.4%	同業者間の競争の激化	30.0%	同業者間の競争の激化	34.5%	同業者間の競争の激化	28.6%
		材料価格の上昇	26.7%	材料価格の上昇 売上の停滞・減少	17.2%	材料価格の上昇 売上の停滞・減少	17.9%
同業者間の競争の激化	21.9%	売上の停滞・減少	23.3%				
人件費の増加 利幅の縮小 大企業との競争の激化	6.3%	人件費の増加	10.0%	利幅の縮小 大企業との競争の激化 店舗・設備の狭小・老朽化	6.9%	利幅の縮小 大企業との競争の激化 店舗・設備の狭小・老朽化	7.1%
		利幅の縮小 大企業との競争の激化 商圏人口の減少	6.7%				

【サービス業】 重点経営施策 (%)



令和7年1~3月期		令和7年4~6月期		令和7年7~9月期		令和7年10~12月期	
経費を節減する	46.9%	経費を節減する	43.3%	経費を節減する	41.4%	経費を節減する	39.3%
販路を広げる	21.9%	販路を広げる	30.0%	販路を広げる	27.6%	販路を広げる	32.1%
宣伝・広告を強化する	12.5%	技術力を強化する	10.0%	宣伝・広告を強化する	10.3%	宣伝・広告を強化する	17.9%
技術力を強化する	6.3%	宣伝・広告を強化する 人材を確保する	6.7%	技術力を強化する	6.9%	技術力を強化する 不動産の有効活用を図る 新しい事業を始める 店舗・設備を改装する	3.6%
不動産の有効活用を図る 新しい事業を始める	3.1%			不動産の有効活用を図る 新しい事業を始める 店舗・設備を改装する	3.4%		

日銀短観

【調査対象企業数】

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,686社	5,150社	8,836社	99.4%
うち大企業	910社	803社	1,713社	99.4%
中堅企業	1,034社	1,499社	2,533社	99.3%
中小企業	1,742社	2,848社	4,590社	99.5%

<回答期間> 令和7年11月11日～12月12日

(参考) 事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2024年度			2025年度		
		上期	下期		上期	下期	
米ドル円 (円/ドル)	2025年6月調査	148.44	148.31	148.57	145.72	145.87	145.56
	2025年9月調査	—	—	—	145.68	145.94	145.41
	2025年12月調査	—	—	—	147.06	146.80	147.33
ユーロ円 (円/ユーロ)	2025年6月調査	160.18	160.76	159.61	157.79	157.89	157.68
	2025年9月調査	—	—	—	160.65	160.66	160.65
	2025年12月調査	—	—	—	164.45	164.00	164.90

【売上高】

(前年度比・%)

		2024年度		2025年度	
			修正率	(計画)	修正率
大企業	製造業	3.0	—	1.2	-0.3
	国内	2.3	—	1.5	-0.4
	輸出	4.4	—	0.5	-0.1
	非製造業	3.9	—	1.8	0.1
	全産業	3.5	—	1.5	-0.1
中堅企業	製造業	3.5	—	2.0	0.1
	非製造業	4.2	—	4.2	0.5
	全産業	4.0	—	3.6	0.4
中小企業	製造業	3.8	—	2.0	0.6
	非製造業	4.0	—	1.0	0.8
	全産業	4.0	—	1.2	0.7
全規模合計	製造業	3.3	—	1.5	-0.1
	非製造業	4.0	—	2.1	0.4
	全産業	3.8	—	1.9	0.3

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

【業況判断】

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2025年9月調査		2025年12月調査			
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製造業	14	12	15	1	15	0
非製造業	34	28	34	0	28	-6
全産業	24	21	24	0	21	-3
中堅企業						
製造業	12	8	16	4	10	-6
非製造業	24	18	25	1	18	-7
全産業	19	14	22	3	15	-7
中小企業						
製造業	1	-1	6	5	2	-4
非製造業	14	10	15	1	10	-5
全産業	9	5	12	3	7	-5
全規模合計						
製造業	7	5	11	4	8	-3
非製造業	21	15	21	0	16	-5
全産業	15	10	17	2	11	-6

(注) 判断項目において、「最近」は回答時点を示す。「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。

【需給・在庫・価格判断】

(%ポイント)

		2025年9月調査		2025年12月調査				
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	
中小企業								
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-18	-18	-17	1	-17	0	
	うち素材業種	-23	-23	-22	1	-22	0	
	加工業種	-14	-15	-14	0	-13	1	
海外での製商品需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	非製造業	-9	-9	-7	2	-10	-3	
	製造業	-15	-15	-15	0	-16	-1	
	うち素材業種	-21	-21	-24	-3	-25	-1	
加工業種	加工業種	-10	-10	-10	0	-10	0	
	製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	14		12	-2		
		うち素材業種	17		15	-2		
加工業種		12		10	-2			
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	13		12	-1			
	うち素材業種	18		17	-1			
	加工業種	10		8	-2			
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	25	31	26	1	32	6	
	うち素材業種	22	29	23	1	30	7	
	加工業種	27	33	28	1	35	7	
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	非製造業	28	33	26	-2	32	6	
	製造業	52	56	54	2	59	5	
	うち素材業種	44	50	47	3	52	5	
加工業種	加工業種	58	61	59	1	62	3	
	非製造業	52	57	51	-1	54	3	

日銀短観は、全国に企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資することを統計上の目的としており、日本銀行金融政策当局が業況等の現状・先行きに関する判断(判断項目)や、事業計画に関する実績・予測(計数項目)など、企業活動全般に関する調査項目について全国の調査対象企業に四半期ごとに実施する統計調査である。サンプル数が多く、回収率も高いことから、数多くある経済指標の中でも注目度の高い統計である。(出典:日本銀行HP)

特別調査「2026年(令和8年)の経営見直し」

(2025年12月上旬調査)

- 注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=204事業所)の回答を集計したものであるが、業種別の分析については回答企業数の少ない「建設業」(5社)と「不動産業」(8社)は除外して行っています。
- 注2. 回答割合は小数点第2位を四捨五入して表記しているため、単数回答での割合の合計が100.0%にならないことがあります。
- 注3. 複数の選択肢を合わせた『(計)』の割合は、各選択肢の合計実数値で再計算しているため、グラフに表記された値の単純合計値とは異なる場合があります。

本調査結果の特徴	① 2026年(令和8年)の日本の景気見通し	『良い』6.2% (前年度3.4%) 『悪い』36.1% (前年度44.2%)
	② 2026年の自社の業況(景気)見通し	『良い』4.1% (前年度6.3%) 『悪い』32.4% (前年度27.7%)
	③ 2026年の売上額の対前年度比伸び率	『増加』13.6% (前年度10.2%) 『減少』22.0% (前年度16.0%)
	④ 自社の業況が上向く転換点の見通し	『短期』28.2% (前年度31.1%) ※すでに上向いている~1年後 『中期』23.0% (前年度23.3%) ※2年後~3年後 『長期』48.7% (前年度45.6%) ※3年超~業況改善の見通しは立たない
	⑤ 紙の手形・小切手の利用状況と現在の決済手段	『紙の手形・小切手を使っている』32.9% 主な理由:『取引先との慣行で使わざるを得ない』15.2% 『紙の手形・小切手をやめた』24.1% 現在の主な資金決済手段:『でんさい』14.7% 『IB』9.4% 『そもそも使っていない』42.9%

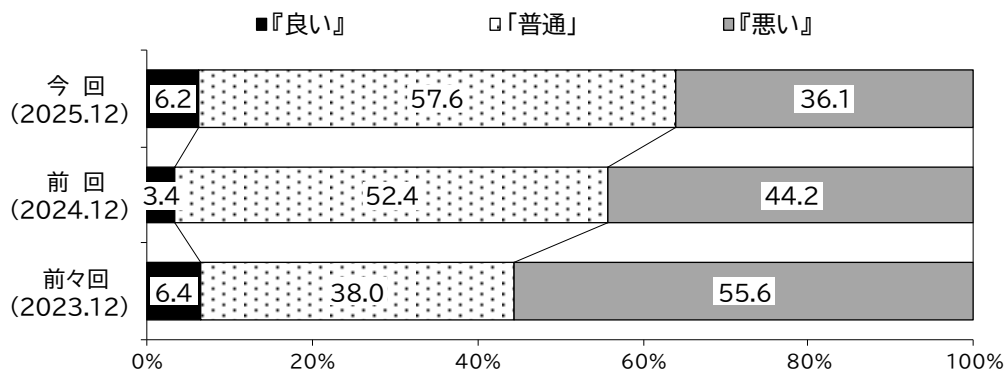
① 2026年(令和8年)の日本の景気見直し

区内の中小企業を対象に2026年の日本の景気見直しについて調査した。その結果は図表1のとおり、足元の日本経済が緩やかに回復していることから『良い』と回答した割合は6.2%となり、前年度調査の3.4%より2.8ポイント増加となった。一方、『悪い』と回答した企業は36.1%と、前年度調査の44.2%より8.1ポイントの減少となった。

業種別では、『良い』と回答したのは“卸売業”で13.6%(前年度調査14.3%)で最も高く、“サービス業”では『良い』と予想している回答企業がなかった。一方、『悪い』と回答したのは“小売業”が51.5%(前年度調査48.6%)で最も高く、続いて“製造業”(34.0%)、“サービス業”(32.1%)、“卸売業”(31.8%)となった。

(注)『良い』は「非常に良い」「良い」「やや良い」の和。『悪い』は「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和。

図表1 2026年の日本の景気見直し



② 2026年の自社の業況(景気)見通し

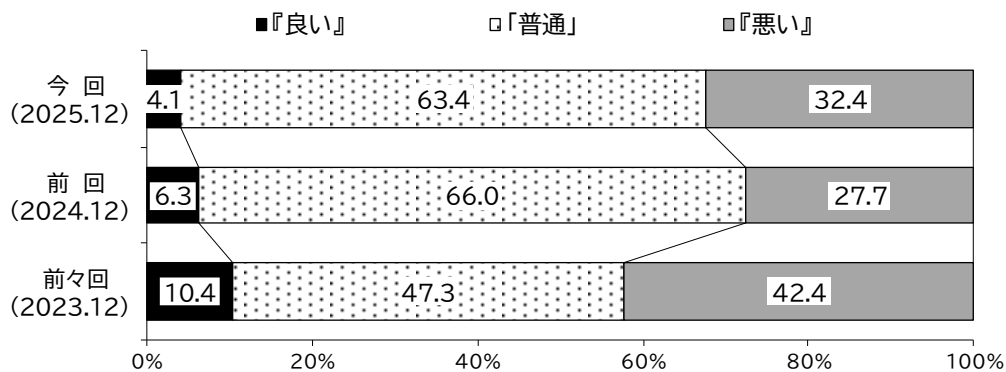
2026年の自社の業況(景気)見通しについて伺った。

その結果、『良い』と回答した企業は全体の4.1%で前年度調査の6.3%より2.2ポイント減少した。一方、『悪い』と回答した企業は32.4%で前年度調査の27.7%より4.7ポイント増加し、「普通」と回答した企業は63.4%で前年調査の66.0%より2.6ポイントの減少となった。

業種別では、『良い』との回答が“卸売業”が9.1%(前年度調査14.3%)で最も高く、一方、『悪い』との回答は“小売業”で37.2%(前年度調査27.0%)で最も高い割合となった。

(注)『良い』は「非常に良い」「良い」「やや良い」の和。『悪い』は「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の和。

図表2 2026年の自社の業況(景気)見通し



③ 2026年の売上額の対前年度比伸び率

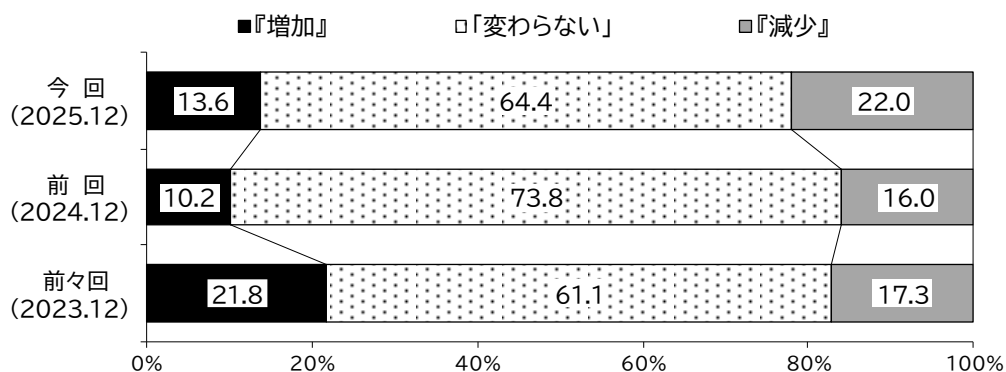
2026年の自社の売上額対前年度比伸び率について伺った。

その結果、『増加』を予想している企業が13.6%と前年度調査の10.2%より3.4ポイント増加した。一方、『減少』を予想している企業は22.0%となり、前年度調査の16.0%より6.0ポイントの増加となっている。

また、「変わらない」とした企業は64.4%で前年度調査の73.8%より9.4ポイントの減少となっている。

業種別では、『増加』を予想しているのは“卸売業”が27.3%(前年度調査42.9%)と最も高く、一方、『減少』を予想しているのは“小売業”が25.8%(前年度調査13.5%)で最も高い割合であった。

図表3 2026年の売上額の対前年度比伸び率



④ 自社の業況が上向く転換点の見通し

さらに、自社の業況が上向く転換点の見通しについて伺った。

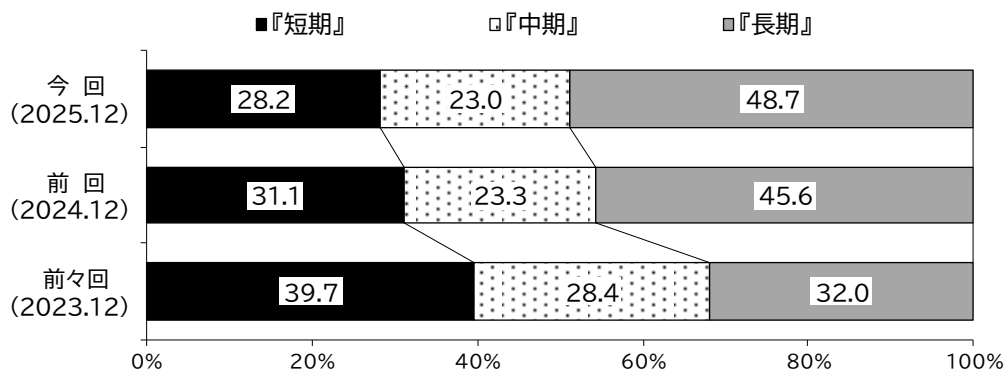
その結果、『短期』で上向くと予想した企業は28.2%で前年度調査の31.1%から2.9ポイント減少した。内訳は「すでに上向いている」14.1%（対前年度2.4ポイント減）、「1年後」9.4%（対前年度調査1.8ポイント減）、「6ヶ月以内」4.7%（対前年度調査1.3ポイント増）であった。

また、2年後、3年後の『中期』とみる企業は23.0%と前年度調査の23.3%より0.3ポイント減少した。一方、3年超の『長期』とする企業は「業況改善の見通しは立たない」とする回答と併せて48.7%で前年度調査（45.6%）より3.1ポイントの増加となっている。

業種別では、『短期』で上向く予想のうち、“卸売業”が40.9%と最も高く、『長期』は“製造業”が58.6%と最も高い割合となっている。

（注）『短期』は「既に上向いている」「6ヶ月以内」「1年後」の和。『中期』は「2年後」「3年後」の和。『長期』は「3年超」「業況改善の見通しは立たない」の和。

図表4 自社の業況が上向く転換点の見通し



⑤ 紙の手形・小切手の利用状況と現在の決済手段

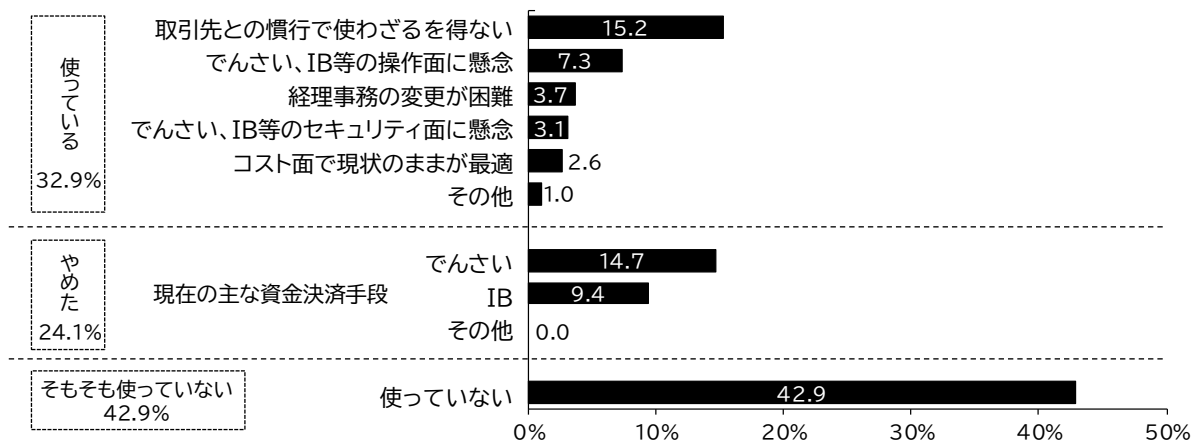
紙の手形・小切手は、2027年3月末までに利用が廃止される予定となっている。そこで、自社の企業間取引における紙の手形・小切手の利用状況と現在の主な資金決済手段について伺った。

その結果、『紙の手形・小切手を使っている』との回答は全体の32.9%で、その内訳は「取引先との慣行で使わざるを得ない」が15.2%と最も高く、次いで「でんさい、IB等の操作面に懸念」(7.3%)、「経理事務の変更が困難」(3.7%)と続いた。

一方、『紙の手形・小切手をやめた』は24.1%で、現在の主な決済手段として「でんさい」が14.7%で最も高く、次いで「IB」(9.4%)であった。「その他」は回答企業がなかった。

また、『そもそも使っていない』との回答は42.9%と全体の4割超を占めた。

図表5 紙の手形・小切手の利用状況と現在の決済手段



中小企業景況調査 比較表

令和7年10月～12月期

製造業

【今期の景況】

	全体		木材・木製品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		一般機械器具、金型		金属製品、建設用金属製品		出版、印刷、製版、製本業		
	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	
業況	-17	-8	-49	-31	-38	-18	-38	-12	-10	-7	-14	-15	
売上額	-6	-3	-26	-29	-53	-18	-15	-3	-5	0	-7	-7	
受注残	-7	-4	-24	-28	-53	-19	-3	-3	-10	-2	-10	-11	
収益	-6	-7	-8	-24	-53	-18	-33	-8	-6	-5	-6	-12	
販売価格	3	20	-4	16	-53	15	-28	16	16	16	6	15	
原材料価格	15	42	-4	43	-52	42	-1	42	33	39	27	43	
原材料在庫	-6	2	-1	7	-53	4	-24	3	-4	2	3	1	
資金繰り	-7	-9	-7	-20	-51	-18	-26	-9	-1	-8	-1	-11	
雇用	残業時間	0	1	0	-3	0	4	0	3	0	1	0	-2
	人手	-8	-18	-20	-31	0	-17	0	-15	5	-15	0	-13
同期比	売上額	0	4	-20	-16	-50	-8	0	7	-5	4	-7	-4
	収益	-9	-3	-20	-19	-50	-10	-25	-1	-11	4	-7	-12
経営上の問題点	① 原材料高	25	38	-	38	50	40	25	37	11	38	38	34
	② 売上の停滞・減少	21	33	40	44	50	38	25	36	21	33	44	40
	③ 同業者間の競争の激化	15	15	-	6	-	10	25	20	21	15	25	23
	④ 利幅の縮小	13	16	20	22	-	20	25	17	11	15	6	16
	⑤ 人手不足	11	19	20	25	-	18	-	21	5	16	13	13
重点経営施策	① 経費を節減する	40	43	60	56	50	46	25	45	32	41	56	47
	② 販路を広げる	36	52	40	56	-	48	25	55	37	49	50	62
	③ 情報力を強化する	13	12	20	6	-	10	25	11	5	12	19	13
	④ 人材を確保する	10	20	20	25	-	23	25	18	-	16	6	13
	⑤ 不採算部門を整理・縮小する	5	4	-	6	-	4	-	3	5	3	13	3
借入の難易度	-6	-2	-50	-16	0	3	0	-1	0	2	-14	-12	

【来期の景況見通し】

業況	-12	-7	-44	-30	-20	-23	-28	-9	-8	-5	-5	-16	
売上額	-2	-1	-14	-29	-51	-17	-26	-3	-5	1	4	-5	
受注残	-5	-2	-18	-25	-51	-17	-27	-4	-6	-2	0	-7	
収益	-3	-6	0	-22	-51	-18	-50	-9	1	-4	3	-12	
販売価格	6	17	3	11	-48	18	-3	15	14	12	4	12	
原材料価格	16	36	-2	37	-49	35	21	39	23	33	13	35	
原材料在庫	-5	2	-1	8	-51	3	-22	3	2	2	1	1	
資金繰り	-6	-9	-3	-17	-47	-14	-29	-11	-6	-7	3	-11	
雇用	残業時間	-1	0	0	0	0	-4	0	4	0	1	0	-4
	人手	-5	-17	-20	-28	0	-14	0	-15	5	-16	0	-11

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 比較表

令和7年10月～12月期

卸売業

【今期の景況】

		全体		木材、竹材	
		江東区	全都	江東区	全都
業況		19	-8	30	30
売上額		6	-1	18	18
収益		-6	-6	17	17
販売価格		31	32	8	8
仕入価格		52	48	41	41
在庫		9	8	-4	-4
資金繰り		1	-7	-7	-7
雇用					
雇用	残業時間	0	2	0	0
	人手	-19	-19	0	0
同期比	売上額	14	10	33	33
	収益	-5	0	33	33
	販売価格	38	40	67	67
	① 仕入先からの値上げ要請	32	24	67	67
経営上の問題点	② 利幅の縮小	18	22	-	-
	③ 同業者間の競争の激化	18	21	-	-
	④ 人手不足	14	18	-	-
	⑤ 売上の停滞・減少	14	35	-	-
	重点経営施策				
重点経営施策	① 販路を広げる	36	58	-	-
	② 経費を節減する	32	41	33	33
	③ 情報力を強化する	23	17	33	33
	④ 人材を確保する	14	22	-	-
	⑤ 労働条件を改善する	5	4	33	33
借入の難易度		16	-1	33	33

小売業

【今期の景況】

		全体		家具・じゅう器 家電・ 家庭用機械		飲料製品		衣服・呉服、 身の回り品	
		江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都	江東区	全都
業況		-26	-12	-62	-5	-13	-11	-54	-19
売上額		-22	-2	-43	0	-14	2	-52	-10
収益		-23	-11	-39	-6	-18	-9	-75	-17
販売価格		17	29	37	26	16	38	18	21
仕入価格		32	43	43	39	21	50	57	39
在庫		3	3	-3	2	-2	1	-2	10
資金繰り		-7	-10	-4	1	-12	-11	-10	-12
雇用									
雇用	残業時間	3	1	0	0	0	1	0	1
	人手	-3	-11	0	-7	-7	-13	0	-8
同期比	売上額	-24	5	-60	3	-7	11	-50	-10
	収益	-35	-7	-60	-1	-21	-6	-75	-14
	販売価格	24	35	20	30	14	45	25	24
	① 売上の停滞・減少	37	30	40	21	29	29	25	37
経営上の問題点	② 仕入先からの値上げ要請	17	21	20	11	21	25	-	13
	③ 同業者間の競争の激化	14	17	-	18	29	18	-	12
	④ 大型店との競争の激化	11	13	-	20	14	16	-	13
	⑤ 人件費の増加	9	14	-	6	7	14	25	8
	重点経営施策								
重点経営施策	① 経費を節減する	31	44	-	43	36	43	50	41
	② 宣伝・広告を強化する	14	20	-	17	14	18	-	26
	③ 売れ筋商品を取り扱う	11	16	-	11	7	22	25	15
	④ 品揃えを改善する	11	25	-	14	14	26	25	37
	⑤ 人材を確保する	9	11	-	10	14	11	-	2
借入の難易度		-14	-6	-25	1	-21	-7	0	-15

【来期の景況見通し】

業況		13	-8	60	60
売上額		-7	1	22	22
収益		-6	-2	17	17
販売価格		26	28	34	34
仕入価格		41	41	34	34
在庫		5	6	17	17
資金繰り		0	-7	12	12
雇用					
雇用	残業時間	-5	2	0	0
	人手	-19	-18	0	0

【来期の景況見通し】

業況		-24	-10	-64	-6	-15	-8	-53	-18
売上額		-20	-2	-43	-5	-15	3	-29	-6
収益		-25	-10	-37	-6	-19	-9	-74	-10
販売価格		13	26	20	20	15	35	16	22
仕入価格		28	38	26	32	20	44	58	36
在庫		4	3	-3	1	-1	0	-2	12
資金繰り		-7	-9	-4	2	-11	-10	-8	-10
雇用									
雇用	残業時間	3	1	0	-1	0	1	0	2
	人手	-3	-12	0	-7	-7	-13	0	-6

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 比較表

令和7年10月～12月期

サービス業

【今期の景況】

		全 体	
		江東区	全都
業 況		-14	-3
売上額		-7	3
収 益		-16	-4
料金価格		6	22
材料価格		18	37
資金繰り		-9	-6
雇 用	残業時間	0	1
	人 手	-4	-26
同 期 比	売上額	0	11
	収 益	0	3
経 営 上 の 問 題 点	① 同業者間の競争の激化	29	21
	② 材料価格の上昇	18	23
	③ 売上の停滞・減少	18	24
	④ 店舗・設備の狭小・老朽化	7	5
	⑤ 利幅の縮小	7	14
重 点 経 営 施 策	① 経費を節減する	39	39
	② 販路を広げる	32	37
	③ 宣伝・広告を強化する	18	15
	④ 不動産の有効活用を図る	4	1
	⑤ 技術力を強化する	4	11
借入の難易度		-14	-5

【来期の景況見通し】

業 況		-11	-1
売上額		-9	3
収 益		-15	-2
料金価格		1	19
材料価格		13	33
資金繰り		-7	-5
雇 用	残業時間	-4	1
	人 手	0	-26

* 季節変動調整済D・Iを表示している項目。業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

中小企業景況調査 転記表 1

令和7年10月～12月期

製造業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		令和7年 10月～12月期		対 前期比	8年 1-3 月期
業 況	良 い	11.8	10.7	7.6	10.0	11.5	7.8	9.7	7.8	9.8	10.0	6.0	9.2	8.2	8.2	7.5	7.2		8.8
	普 通	60.7	59.2	65.7	66.0	62.5	67.7	66.0	70.6	69.6	69.0	72.0	70.4	71.4	72.2	71.0	76.3		73.6
	悪 い	27.5	30.1	26.7	24.0	26.0	24.5	24.3	21.6	20.6	21.0	22.0	20.4	20.4	19.6	21.5	16.5		17.6
	D・I	-15.7	-19.4	-19.1	-14.0	-14.5	-16.7	-14.6	-13.8	-10.8	-11.0	-16.0	-11.2	-12.2	-11.4	-14.0	-9.3		-8.8
	修正値	-15.4	-19.2	-16.9	-14.8	-15.2	-16.0	-15.7	-12.6	-12.0	-11.7	-18.3	-12.9	-16.1	-15.1	-17.3	-11.5	-1.2	-11.5
	傾 向 値	-21.8		-20.0		-19.1		-17.1		-15.4		-14.4		-13.7		-13.3			
売 上 額	増 加	11.8	11.3	9.5	8.9	8.7	11.4	8.7	8.7	9.8	7.8	11.0	11.8	10.2	13.0	11.8	9.2		9.7
	変 ら ず	72.5	73.6	71.5	78.2	72.1	74.3	74.8	76.9	78.4	78.6	75.0	77.4	77.6	80.0	75.3	82.6		80.6
	減 少	15.7	15.1	19.0	12.9	19.2	14.3	16.5	14.4	11.8	13.6	14.0	10.8	12.2	7.0	12.9	8.2		9.7
	D・I	-3.9	-3.8	-9.5	-4.0	-10.5	-2.9	-7.8	-5.7	-2.0	-5.8	-3.0	1.0	-2.0	6.0	-1.1	1.0		0.0
	修正値	-3.9	-4.7	-7.2	-5.6	-10.1	-1.3	-10.3	-5.8	-4.4	-6.8	-7.5	-2.1	-5.5	0.5	-6.4	-1.6	-0.9	-2.1
	傾 向 値	-5.2		-5.3		-6.8		-7.7		-7.7		-6.6		-4.8		-2.9			
受 注 残	増 加	11.8	8.5	11.4	7.9	8.7	8.6	8.7	7.7	11.8	6.8	12.0	12.7	11.2	11.0	9.7	8.2		6.5
	変 ら ず	70.6	76.4	71.5	76.3	76.9	78.1	77.7	80.8	78.4	83.5	74.0	78.5	77.6	81.0	78.5	84.7		84.9
	減 少	17.6	15.1	17.1	15.8	14.4	13.3	13.6	11.5	9.8	9.7	14.0	8.8	11.2	8.0	11.8	7.1		8.6
	D・I	-5.8	-6.6	-5.7	-7.9	-5.7	-4.7	-4.9	-3.8	2.0	-2.9	-2.0	3.9	0.0	3.0	-2.1	1.1		-2.1
	修正値	-5.5	-7.1	-4.1	-9.1	-6.6	-3.0	-7.1	-4.6	-0.2	-4.6	-6.1	0.9	-4.3	-0.7	-6.6	-1.8	-2.3	-4.6
	傾 向 値	-6.9		-6.7		-6.7		-6.0		-4.6		-3.1		-1.9		-0.9			
収 益	増 加	9.8	8.5	9.5	8.9	8.7	7.6	9.7	7.7	11.8	7.8	10.0	12.7	9.2	9.0	9.7	7.1		9.7
	変 ら ず	79.4	79.2	75.3	80.2	75.9	79.1	77.7	76.9	75.5	74.7	76.0	75.5	78.6	80.0	79.5	82.7		79.5
	減 少	10.8	12.3	15.2	10.9	15.4	13.3	12.6	15.4	12.7	17.5	14.0	11.8	12.2	11.0	10.8	10.2		10.8
	D・I	-1.0	-3.8	-5.7	-2.0	-6.7	-5.7	-2.9	-7.7	-0.9	-9.7	-4.0	0.9	-3.0	-2.0	-1.1	-3.1		-1.1
	修正値	-2.9	-5.1	-4.5	-4.7	-6.3	-4.6	-5.4	-5.9	-3.8	-10.9	-8.3	-3.5	-5.7	-6.2	-6.1	-3.8	-0.4	-3.4
	傾 向 値	-8.3		-6.5		-6.3		-5.1		-4.1		-3.8		-3.2		-2.5			
価 格 動 向	販 売 価 格	7.9	10.4	11.4	9.9	11.6	13.3	11.7	16.3	10.8	14.6	14.0	11.8	9.2	21.0	4.3	11.2		5.4
	修正値	7.5	10.2	10.4	8.1	9.0	12.5	10.5	13.8	10.7	14.0	11.5	10.5	6.7	17.8	3.2	9.0	-3.5	5.7
	傾 向 値	10.8		10.9		10.8		10.6		11.0		11.7		11.7		10.5			
	原 材 料 価 格	23.6	24.5	32.3	23.7	32.7	34.3	27.2	32.7	20.6	28.1	27.0	22.5	23.4	29.0	15.0	19.3		15.0
	修正値	22.4	24.9	29.7	21.4	28.5	32.4	27.2	29.0	21.0	28.7	23.4	21.6	19.8	25.4	15.1	17.0	-4.7	15.8
	傾 向 値	28.8		28.5		29.2		29.2		28.6		27.5		25.7		23.0			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原 材 料 在 庫 数 量	-0.9	0.0	-4.7	-1.0	-1.0	-2.9	-2.0	1.0	-2.9	-3.0	0.0	-0.9	-2.0	0.0	-5.4	-1.0		-5.4
	修正値	-1.3	0.7	-3.9	-2.0	-1.5	-2.3	-1.7	0.9	-3.3	-2.2	0.4	-1.6	-3.0	0.3	-5.6	-1.7	-2.6	-4.7
	資 金 繰 り	-5.9	-6.6	-10.5	-3.9	-9.7	-6.7	-6.8	-4.8	-2.0	-2.0	-6.0	-4.9	-7.2	-1.0	-5.3	-4.1		-4.3
修正値	-5.0	-8.0	-9.6	-4.3	-10.4	-5.9	-7.5	-4.4	-2.6	-3.9	-8.0	-5.5	-9.2	-3.3	-7.2	-5.1	2.0	-6.2	
前 年 同 期 比	売 上 額	1.0		-0.9		-2.8		-6.8		-4.9		0.0		0.0		0.0			
	収 益	1.9		-5.7		-5.8		-8.7		-3.9		-7.0		-7.1		-8.6			
雇 用	残 業 時 間	-3.9	-3.8	-3.8	-4.9	-1.0	-3.8	1.0	-1.9	-2.9	-2.9	0.0	-1.9	0.0	-2.0	0.0	-1.0		-1.1
	人 手	-3.0	-6.7	-4.8	-2.9	-5.7	-4.9	-3.9	-4.8	-6.8	-3.9	-7.0	-6.8	-4.1	-6.0	-7.5	-4.1		-5.4
借 入 金	借 入 を し た /借 入 の 予 定 あり (%)	10.9	8.7	15.2	8.9	13.5	9.5	8.7	9.7	12.7	10.7	11.0	7.8	13.3	11.2	9.7	8.2		7.6
	借 入 し な い /借 入 の 予 定 なし (%)	89.1	91.3	84.8	91.1	86.5	90.5	91.3	90.3	87.3	89.3	89.0	92.2	86.7	88.8	90.3	91.8		92.4
	借入難易度	-8.6		-11.0		-9.6		-7.3		-11.7		-4.4		-8.2		-6.1			
有 効 回 答 事 業 所 数		103		105		104		103		102		100		98		94			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年10月～12月期

製造業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		令和7年		令和7年		令和7年		対前期比	8年1-3月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.9	-5.7	-2.9	-5.9	0.0	-1.9	-2.9	1.0	2.9	-0.9	-2.0	1.0	0.0	-2.0	-1.0	0.0	-1.0
	実施した・予定あり	7.8	10.4	9.6	9.8	8.7	9.6	8.7	7.8	9.8	9.8	8.0	11.1	6.1	9.1	7.5	8.2	5.4
	事業用土地・建物	25.0	27.3	30.0	30.0	22.2	20.0	22.2	37.5	-	30.0	-	18.2	16.7	22.2	14.3	-	-
	機械・設備の新・増設	25.0	36.4	20.0	40.0	33.3	20.0	44.4	25.0	50.0	40.0	37.5	36.4	33.3	33.3	28.6	37.5	40.0
	機械・設備の更改	75.0	72.7	60.0	70.0	55.6	80.0	44.4	62.5	30.0	50.0	37.5	63.6	33.3	55.6	42.9	50.0	60.0
	事務機器	25.0	9.1	10.0	10.0	11.1	10.0	11.1	12.5	-	10.0	12.5	-	-	-	-	-	-
	車両	12.5	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	12.5	-	16.7	-	14.3	12.5	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
実施しない・予定なし	92.2	89.6	90.4	90.2	91.3	90.4	91.3	92.2	90.2	90.2	92.0	88.9	93.9	90.9	92.5	91.8	94.6	
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	33.0		31.4		28.8		29.1		24.5		21.0		21.4		21.3		
	人手不足	6.8		8.6		7.7		5.8		9.8		9.0		8.2		10.6		
	大手企業との競争の激化	4.9		5.7		5.8		4.9		3.9		3.0		3.1		4.3		
	同業者間の競争の激化	11.7		16.2		17.3		17.5		14.7		18.0		17.3		14.9		
	親企業による選別の強化	-		-		-		-		-		-		-		-		
	輸入製品との競争の激化	1.0		1.0		1.0		1.0		2.0		2.0		1.0		2.1		
	合理化の不足	3.9		2.9		2.9		3.9		2.0		2.0		2.0		2.1		
	利幅の縮小	5.8		10.5		9.6		9.7		8.8		14.0		14.3		12.8		
	原材料高	24.3		25.7		26.0		27.2		23.5		31.0		25.5		24.5		
	販売納入先からの値下げ要請	1.0		2.9		1.0		1.0		1.0		1.0		3.1		2.1		
	仕入先からの値上げ要請	10.7		8.6		7.7		5.8		5.9		7.0		11.2		6.4		
	人件費の増加	3.9		5.7		4.8		4.9		4.9		5.0		6.1		7.4		
	人件費以外の経費の増加	1.9		1.9		1.9		1.0		1.0		2.0		3.1		2.1		
	工場・機械の狭小・老朽化	6.8		5.7		6.7		4.9		4.9		6.0		8.2		8.5		
	生産能力の不足	1.9		3.8		3.8		4.9		2.9		4.0		1.0		1.1		
	下請の確保難	1.0		1.9		1.0		1.0		1.0		2.0		1.0		1.1		
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-		
	地価の高騰	-		1.9		1.0		1.9		1.0		-		-		-		
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		1.0		-		
	地場産業の衰退	1.9		1.9		1.9		2.9		2.0		2.0		3.1		3.2		
大手企業・工場の縮小・撤退	1.0		-		-		1.0		1.0		1.0		-		-			
為替レートの変動	-		-		-		-		1.0		1.0		1.0		1.1			
その他	1.0		1.9		1.9		1.0		2.0		3.0		2.0		-			
問題なし	33.0		25.7		27.9		27.2		37.3		29.0		29.6		30.9			
重点経営施策(%)	販路を広げる	40.8		40.0		38.5		42.7		39.2		41.0		38.8		36.2		
	経費を節減する	40.8		41.9		37.5		38.8		33.3		37.0		42.9		40.4		
	情報力を強化する	2.9		10.5		9.6		13.6		7.8		12.0		13.3		12.8		
	新製品・技術を開発する	1.0		1.0		2.9		1.9		2.0		1.0		1.0		1.1		
	不採算部門を整理・縮小する	3.9		5.7		3.8		3.9		2.9		4.0		6.1		5.3		
	提携先を見つける	1.9		1.9		1.9		1.9		2.9		1.0		3.1		1.1		
	機械化を推進する	4.9		2.9		3.8		1.9		2.0		4.0		3.1		3.2		
	人材を確保する	5.8		9.5		14.4		10.7		12.7		12.0		8.2		9.6		
	パート化を図る	1.9		1.9		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		1.1		
	教育訓練を強化する	1.0		-		-		-		1.0		2.0		1.0		-		
	労働条件を改善する	1.0		-		1.9		1.9		1.0		1.0		2.0		1.1		
	工場・機械を増設・移転する	2.9		4.8		2.9		3.9		2.0		2.0		2.0		2.1		
	不動産の有効活用を図る	-		1.0		1.0		-		-		2.0		1.0		1.1		
その他	1.0		1.0		1.0		1.0		2.0		2.0		2.0		2.1			
特になし	40.8		33.3		32.7		28.2		45.1		38.0		36.7		36.2			
有効回答事業所数	103		105		104		103		102		100		98		94			

卸売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		令和7年 10月～12月期		対 前期比	8年 1-3 月期	
業 況	良	25.0	30.4	20.8	25.0	25.0	20.8	23.8	43.5	35.0	42.9	27.3	35.0	33.3	27.3	33.3	23.8		20.0	
	普	50.0	43.5	66.7	58.3	54.2	62.5	66.7	34.8	55.0	52.3	59.1	55.0	57.2	68.2	57.2	66.7		80.0	
	悪	25.0	26.1	12.5	16.7	20.8	16.7	9.5	21.7	10.0	4.8	13.6	10.0	9.5	4.5	9.5	9.5		-	
	D・I	0.0	4.3	8.3	8.3	4.2	4.1	14.3	21.8	25.0	38.1	13.7	25.0	23.8	22.8	23.8	14.3		20.0	
	修正値	-6.6	-0.5	9.1	5.5	9.0	3.8	11.0	18.7	15.6	30.7	6.6	18.9	20.3	19.8	18.5	9.8	-1.8	12.5	
	傾向値	-16.2		-10.4		-2.8		3.8		9.8		13.6		16.8		20.4				
売 上 額	増	33.3	30.4	20.8	33.3	20.8	25.0	23.8	29.2	25.0	30.0	27.3	15.0	23.8	27.3	23.8	9.5		9.5	
	変	50.0	39.2	58.4	45.9	58.4	50.0	66.7	58.3	65.0	70.0	59.1	75.0	66.7	68.2	66.7	81.0		76.2	
	減	16.7	30.4	20.8	20.8	20.8	25.0	9.5	12.5	10.0	-	13.6	10.0	9.5	4.5	9.5	9.5		14.3	
	D・I	16.6	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	14.3	16.7	15.0	30.0	13.7	5.0	14.3	22.8	14.3	0.0		-4.8	
	修正値	12.5	1.7	0.8	11.2	5.9	-5.5	7.8	18.4	7.7	26.8	5.6	2.4	11.2	10.0	6.0	0.3	-5.2	-6.8	
	傾向値	-13.1		-6.2		0.4		5.9		7.5		9.0		12.5		14.3				
収 益	増	25.0	30.4	20.8	25.0	12.5	25.0	14.3	25.0	20.0	15.0	27.3	5.0	19.0	31.8	19.0	14.3		14.3	
	変	50.0	43.5	54.2	45.8	66.7	54.2	85.7	62.5	60.0	85.0	54.5	75.0	62.0	63.7	66.7	76.2		71.4	
	減	25.0	26.1	25.0	29.2	20.8	20.8	-	12.5	20.0	-	18.2	20.0	19.0	4.5	14.3	9.5		14.3	
	D・I	0.0	4.3	-4.2	-4.2	-8.3	4.2	14.3	12.5	0.0	15.0	9.1	-15.0	0.0	27.3	4.7	4.8		0.0	
	修正値	-0.2	1.8	-1.1	0.5	-5.0	1.8	3.3	9.2	-1.6	8.7	3.6	-9.2	-3.1	14.1	-6.1	-1.0	-3.0	-5.7	
	傾向値	-22.2		-14.1		-7.0		-1.9		0.5		2.1		4.8		4.7				
業 況 動 向	販売価格	37.5	21.8	37.5	37.5	45.8	33.3	28.6	37.5	35.0	28.6	40.9	35.0	23.8	36.4	28.5	19.0		23.8	
	修正値	33.8	21.2	32.2	30.3	39.7	26.0	31.2	37.5	31.1	30.2	33.2	28.8	19.2	28.1	31.3	19.7	12.1	25.9	
	傾向値	31.7		33.7		36.5		37.6		37.0		37.2		34.8		32.1				
	仕入価格	45.8	34.8	58.3	47.8	54.1	54.2	47.6	37.5	50.0	38.1	50.0	45.0	52.4	40.9	47.5	38.1		33.3	
	修正値	44.8	42.2	48.8	43.5	46.3	44.1	53.1	32.2	49.4	46.9	40.8	40.5	45.1	32.7	51.9	35.1	6.8	40.6	
	傾向値	57.0		54.6		52.9		51.5		52.0		51.5		50.2		50.0				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在庫数量	-4.2	4.4	0.0	4.2	4.2	4.2	-4.7	8.3	15.0	14.3	9.1	5.0	9.5	9.1	9.5	9.5		9.5	
	修正値	-2.1	2.9	-1.3	7.2	1.9	2.5	-5.2	6.9	13.2	9.2	8.6	6.8	8.7	7.4	9.1	10.6	0.4	4.7	
	資金繰り	0.0	0.0	16.6	0.0	4.2	16.6	9.5	8.4	10.0	23.8	13.7	5.0	9.5	13.7	4.7	14.2		4.8	
修正値	0.9	-6.4	17.0	-2.2	4.9	20.3	3.2	8.0	9.6	15.2	6.7	4.2	5.8	9.6	0.7	10.7	-5.1	-0.4		
前 年 同 期 比	売上額	25.0		8.3		8.4		14.3		15.0		9.1		19.0		14.2				
	収益	4.2		-4.1		-8.4		23.8		5.0		18.2		14.3		-4.8				
	販売価格	33.3		37.5		45.8		33.4		25.0		45.5		33.3		38.1				
雇 用	残業時間	4.2	0.0	8.3	4.2	4.1	0.0	9.5	0.0	0.0	4.7	0.0	5.0	-4.8	-4.5	0.0	-4.8		-4.8	
	人手	-25.0	-21.7	-25.0	-25.0	-16.7	-20.8	-19.0	-17.4	-15.0	-19.0	-27.3	-15.0	-14.3	-27.3	-19.0	-14.3		-19.0	
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	29.2	13.0	25.0	16.7	25.0	16.7	20.0	16.7	5.0	14.3	9.5	20.0	14.3	9.5	14.3	14.3		14.3	
	借入しない/借入の予定なし(%)	70.8	87.0	75.0	83.3	75.0	83.3	80.0	83.3	95.0	85.7	90.5	80.0	85.7	90.5	85.7	85.7		85.7	
	借入難易度	0.0		4.3		14.3		0.0		-5.0		15.0		-5.2		15.8				
有効回答事業所数		24		24		24		21		20		22		21		22				

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年10月～12月期

卸売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		令和7年		令和7年		令和7年		令和7年		対 前期比	8年 1-3 月期
	1月～3月期	4月～6月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期						
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	0.0	0.0	-4.1	0.0	-8.7	-4.1	0.0	-8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	-9.5	0.0	-9.5	-9.5		-9.5	
	実施した・予定あり	17.4	18.2	17.4	25.0	14.3	18.2	15.0	33.3	21.1	25.0	20.0	5.3	20.0	15.0	23.8	20.0		19.0	
	事業用土地・建物	25.0	25.0	50.0	33.3	66.7	25.0	33.3	28.6	50.0	-	25.0	-	25.0	33.3	-	25.0		-	
	事務機器	25.0	25.0	50.0	16.7	33.3	50.0	33.3	14.3	-	20.0	-	-	-	-	20.0	-		25.0	
	車両	50.0	75.0	75.0	33.3	33.3	25.0	33.3	28.6	25.0	40.0	-	-	25.0	-	20.0	50.0		75.0	
		75.0	75.0	25.0	33.3	33.3	50.0	66.7	28.6	25.0	40.0	25.0	100.0	25.0	33.3	60.0	25.0		25.0	
		50.0	25.0	-	50.0	33.3	25.0	33.3	42.9	25.0	60.0	75.0	100.0	50.0	33.3	40.0	25.0		25.0	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	82.6	81.8	82.6	75.0	85.7	81.8	85.0	66.7	78.9	75.0	80.0	94.7	80.0	85.0	76.2	80.0		81.0	
	経営上 の問題 点 (%)	売上の停滞・減少	25.0		25.0		29.2		19.0		15.0		18.2		19.0		13.6			
人手不足		12.5		8.3		16.7		14.3		15.0		22.7		19.0		13.6				
同業者間の競争の激化		8.3		8.3		8.3		19.0		15.0		13.6		9.5		18.2				
輸入品との競争の激化		-		8.3		8.3		4.8		-		4.5		4.8		9.1				
流通経路の変化による競争の激化		-		-		-		-		-		4.5		-		-				
合理化の不足		-		8.3		8.3		9.5		-		9.1		-		-				
小口注文・多頻度配送の増加		-		4.2		4.2		-		-		4.5		4.8		-				
利幅の縮小		20.8		29.2		29.2		23.8		25.0		18.2		9.5		18.2				
取扱商品の陳腐化		4.2		4.2		4.2		4.8		5.0		4.5		4.8		4.5				
販売商品の不足		16.7		8.3		8.3		14.3		10.0		9.1		14.3		9.1				
販売納入先からの値下げ要請		-		-		-		-		-		-		4.8		-				
仕入先からの値上げ要請		29.2		25.0		25.0		19.0		20.0		18.2		23.8		31.8				
人件費の増加		4.2		8.3		8.3		9.5		10.0		13.6		-		9.1				
人件費以外の経費の増加		-		4.2		-		-		-		-		-		-				
取引先の減少		8.3		8.3		8.3		4.8		5.0		9.1		4.8		4.5				
店舗の狭小・老朽化		-		4.2		-		-		-		-		-		-				
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-				
地価の高騰		8.3		4.2		4.2		-		-		-		-		-				
駐車場の確保難		4.2		-		4.2		4.8		5.0		4.5		4.8		4.5				
天候の不順		-		-		-		-		-		-		4.8		-				
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-				
為替レートの変動		12.5		4.2		12.5		9.5		5.0		4.5		9.5		9.1				
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-				
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
問題なし	29.2		16.7		16.7		28.6		40.0		22.7		28.6		27.3					
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	41.7		33.3		37.5		33.3		35.0		36.4		28.6		36.4				
	経費を節減する	12.5		20.8		25.0		19.0		20.0		27.3		28.6		31.8				
	品揃えを充実する	12.5		16.7		12.5		9.5		-		-		-		4.5				
	情報力を強化する	16.7		20.8		25.0		23.8		20.0		36.4		28.6		22.7				
	新しい事業を始める	4.2		-		-		-		-		-		-		-				
	提携先を見つける	-		-		-		-		-		4.5		-		4.5				
	機械化を推進する	4.2		-		-		4.8		-		-		4.8		4.5				
	人材を確保する	20.8		20.8		20.8		9.5		20.0		22.7		14.3		13.6				
	パート化を図る	4.2		-		-		4.8		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	4.2		12.5		8.3		-		-		9.1		9.5		4.5				
	流通経路の見直しをする	8.3		4.2		4.2		9.5		15.0		4.5		4.8		4.5				
	取引先を支援する	4.2		4.2		8.3		4.8		5.0		-		-		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		4.5		4.8		-				
	労働条件を改善する	-		4.2		4.2		-		-		-		4.8		4.5				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		4.8		-				
その他	-		-		-		-		-		-		-		-					
特になし	33.3		25.0		20.8		33.3		45.0		27.3		38.1		36.4					
有効回答事業所数	24		24		24		21		20		22		21		22					

小売業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		令和7年 10月～12月期		対 前期比	8年 1-3 月期
業 況	良 い	-	-	-	2.6	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.9	-		2.9
	普 通	79.5	78.6	69.4	76.3	70.3	67.6	73.0	79.4	82.1	82.9	73.0	82.1	74.3	80.6	67.7	74.3		70.6
	悪 い	20.5	21.4	30.6	21.1	27.0	32.4	27.0	20.6	17.9	17.1	27.0	17.9	25.7	19.4	29.4	25.7		26.5
	D・I	-20.5	-21.4	-30.6	-18.5	-24.3	-32.4	-27.0	-20.6	-17.9	-17.1	-27.0	-17.9	-25.7	-19.4	-26.5	-25.7		-23.6
	修正値	-20.6	-21.2	-28.8	-20.0	-23.9	-30.8	-26.0	-18.8	-19.7	-17.3	-27.7	-20.4	-26.6	-19.6	-26.2	-24.9	0.4	-24.4
	傾 向 値	-22.5		-22.6		-24.1		-25.1		-25.3		-24.5		-24.2		-24.3			
売 上 額	増 加	5.1	4.7	2.8	5.1	2.7	2.8	5.4	-	2.6	8.1	2.7	-	-	2.7	2.9	-		2.9
	変 ら ず	82.1	79.0	72.2	84.6	83.8	77.8	75.7	91.7	87.1	86.5	75.7	94.9	77.1	83.8	73.6	77.1		76.5
	減 少	12.8	16.3	25.0	10.3	13.5	19.4	18.9	8.3	10.3	5.4	21.6	5.1	22.9	13.5	23.5	22.9		20.6
	D・I	-7.7	-11.6	-22.2	-5.2	-10.8	-16.6	-13.5	-8.3	-7.7	2.7	-18.9	-5.1	-22.9	-10.8	-20.6	-22.9		-17.7
	修正値	-10.1	-11.3	-20.3	-9.5	-9.5	-15.6	-13.3	-3.7	-12.0	1.1	-18.9	-10.4	-21.4	-11.6	-21.8	-18.4	-0.4	-20.0
	傾 向 値	-16.1		-15.1		-14.4		-13.6		-13.6		-13.1		-14.2		-16.6			
収 益	増 加	2.6	2.3	5.6	2.6	5.4	5.6	-	2.8	-	2.7	-	2.6	-	-	2.9	-		2.9
	変 ら ず	79.5	79.1	66.6	84.6	75.7	72.2	67.6	83.3	89.7	81.1	75.7	92.3	71.4	78.4	67.7	71.4		67.7
	減 少	17.9	18.6	27.8	12.8	18.9	22.2	32.4	13.9	10.3	16.2	24.3	5.1	28.6	21.6	29.4	28.6		29.4
	D・I	-15.3	-16.3	-22.2	-10.2	-13.5	-16.6	-32.4	-11.1	-10.3	-13.5	-24.3	-2.5	-28.6	-21.6	-26.5	-28.6		-26.5
	修正値	-15.9	-15.6	-21.7	-13.6	-12.3	-16.1	-28.5	-7.6	-14.6	-11.3	-26.3	-8.8	-27.8	-22.5	-23.3	-24.8	4.5	-25.0
	傾 向 値	-18.8		-19.1		-18.5		-19.1		-20.2		-19.9		-22.0		-23.2			
価 格 動 向	販 売 価 格	15.4	7.0	22.2	10.3	21.6	19.4	16.2	16.7	15.4	13.5	10.8	10.3	8.6	10.8	17.6	8.6		14.7
	修正値	11.9	7.4	20.2	5.6	20.0	18.2	18.7	17.8	13.5	15.5	8.2	7.5	6.4	8.6	17.1	8.2	10.7	13.3
	傾 向 値	14.2		16.1		17.4		18.3		18.9		17.4		14.4		12.9			
	仕 入 価 格	33.4	18.6	36.1	20.5	43.2	33.3	32.4	38.9	28.2	29.7	29.7	17.9	28.6	18.9	35.3	25.7		32.4
	修正値	27.8	16.5	34.2	16.1	41.1	31.8	33.3	37.4	25.6	29.6	27.2	17.7	24.7	18.0	32.3	21.7	7.6	27.8
	傾 向 値	26.6		28.8		32.2		35.4		35.6		34.2		31.6		30.1			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	-5.1	-7.0	-5.6	-7.7	0.0	-5.6	5.4	-2.8	-5.1	0.0	-5.4	-5.1	0.0	-2.7	5.9	0.0		5.9
	修正値	-5.9	-5.2	-5.9	-8.7	1.2	-6.1	5.2	-1.8	-5.3	1.6	-5.0	-4.9	-1.5	-4.0	2.6	-1.0	4.1	4.3
	資 金 繰 り	-5.1	-7.1	-11.1	-7.7	-8.1	-11.1	-5.4	-8.3	0.0	-2.7	-8.1	0.0	-11.4	-8.1	-5.9	-11.4		-5.9
修正値	-8.0	-6.0	-10.2	-11.3	-4.1	-10.6	-5.3	-4.0	-5.1	-1.7	-11.0	-4.7	-9.6	-10.9	-6.6	-9.0	3.0	-6.6	
前 年 同 期 比	売 上 額	-5.2		-13.9		-16.2		-16.2		-10.3		-18.9		-22.9		-23.6			
	収 益	-5.2		-19.4		-24.3		-37.8		-17.9		-32.4		-37.1		-35.3			
	販 売 価 格	17.9		25.0		21.6		10.8		12.8		13.5		17.1		23.5			
雇 用	残 業 時 間	0.0	0.0	0.0	2.6	2.7	0.0	-2.7	-2.8	0.0	2.7	-2.7	0.0	0.0	-2.7	2.9	0.0		2.9
	人 手	-10.3	-7.0	-8.3	-7.7	-10.8	-5.6	-13.5	-8.3	-10.3	-13.5	-8.1	-10.3	-2.8	-8.1	-3.0	-2.8		-3.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	10.3	2.3	8.3	5.1	10.8	2.8	8.1	5.6	7.7	5.4	2.7	2.6	5.7	5.4	8.8	8.6		11.8
	借入しない/借入の予定なし(%)	89.7	97.7	91.7	94.9	89.2	97.2	91.9	94.4	92.3	94.6	97.3	97.4	94.3	94.6	91.2	91.4		88.2
	借入難易度	-5.9	-9.4	-9.4	-8.8	-8.8	-8.8	-8.8	-14.3	-9.1	-10.3	-13.8							
有効回答事業所数	39		36		38		37		39		37		35		35				

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年10月～12月期

小売業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		令和7年		令和7年		令和7年		令和7年		対 前期比	8年 1-3 月期
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期	10月～12月期			
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-5.1	-2.3	-2.8	-5.1	-5.4	-2.8	-2.7	-2.8	0.0	-2.7	0.0	0.0	-5.7	0.0	0.0	-2.9		0.0	
	実施した・予定あり	5.1	2.3	5.7	2.6	5.4	5.9	5.4	5.6	0.0	2.7	0.0	0.0	3.0	2.9	0.0	3.0		0.0	
	事業用土地・建物	-	-	50.0	-	50.0	50.0	50.0	50.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務機器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	車両	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	100.0	100.0	50.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	94.9	97.7	94.3	97.4	94.6	94.1	94.6	94.4	100.0	97.3	100.0	100.0	97.0	97.1	100.0	97.0		100.0	
経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	25.6		36.1		34.2		40.5		28.2		37.8		34.3		37.1				
	人手不足	5.1		2.8		7.9		8.1		7.7		5.4		8.6		2.9				
	同業者間の競争の激化	20.5		16.7		15.8		16.2		17.9		18.9		11.4		14.3				
	大型店との競争の激化	12.8		13.9		10.5		13.5		15.4		13.5		11.4		11.4				
	輸入製品との競争の激化	-		-		2.6		2.7		2.6		5.4		2.9		2.9				
	利幅の縮小	10.3		16.7		13.2		21.6		7.7		16.2		17.1		8.6				
	取扱商品の陳腐化	-		-		-		-		2.6		2.7		-		-				
	販売商品の不足	2.6		2.8		5.3		5.4		2.6		2.7		2.9		2.9				
	販売納入先からの値下げ要請	-		2.8		-		-		-		-		-		-				
	仕入先からの値上げ要請	25.6		33.3		26.3		27.0		23.1		16.2		17.1		17.1				
	人件費の増加	5.1		11.1		10.5		8.1		7.7		8.1		8.6		8.6				
	人件費以外の経費の増加	2.6		2.8		2.6		2.7		2.6		2.7		-		-				
	取引先の減少	-		-		-		-		2.6		-		-		-				
	商圏人口の減少	-		-		-		-		2.6		2.7		-		-				
	商店街の集客力の低下	7.7		5.6		10.5		8.1		7.7		8.1		5.7		5.7				
	店舗の狭小・老朽化	-		-		-		-		-		-		5.7		5.7				
	代金回収の悪化	-		-		-		-		-		-		-		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		-		-		-		-				
	駐車場の確保難	-		-		-		-		-		-		-		-				
	天候の不順	-		-		-		-		-		-		2.9		-				
	地場産業の衰退	-		-		-		-		-		-		-		-				
	大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		-		-		-		-		2.9				
問題なし	38.5		30.6		34.2		24.3		38.5		40.5		40.0		42.9					
重点 経営 施策 (%)	品揃えを改善する	20.5		22.2		13.2		16.2		15.4		13.5		11.4		11.4				
	経費を節減する	35.9		27.8		39.5		40.5		30.8		35.1		31.4		31.4				
	宣伝・広告を強化する	10.3		16.7		7.9		18.9		15.4		16.2		14.3		14.3				
	新しい事業を始める	2.6		-		-		-		-		-		-		-				
	店舗・設備を改装する	-		2.8		2.6		2.7		2.6		2.7		2.9		2.9				
	仕入先を開拓・選別する	7.7		5.6		10.5		10.8		2.6		2.7		5.7		5.7				
	営業時間を延長する	-		2.8		-		2.7		-		-		-		2.9				
	売れ筋商品を取り扱う	12.8		19.4		15.8		18.9		12.8		16.2		11.4		11.4				
	商店街事業を活性化させる	10.3		11.1		13.2		10.8		7.7		10.8		8.6		5.7				
	機械化を推進する	-		2.8		2.6		2.7		-		-		-		-				
	人材を確保する	2.6		5.6		5.3		8.1		5.1		5.4		8.6		8.6				
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		2.6		2.7		2.6		2.7		2.9		2.9				
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-				
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-				
	特になし	46.2		44.4		42.1		35.1		51.3		48.6		51.4		51.4				
有効回答事業所数	39		36		38		37		39		37		35		35					

サービス業

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	令和6年 1月～3月期		令和6年 4月～6月期		令和6年 7月～9月期		令和6年 10月～12月期		令和7年 1月～3月期		令和7年 4月～6月期		令和7年 7月～9月期		令和7年 10月～12月期		対 前期比	8年 1-3 月期
業 況	良 い	3.0	5.9	9.4	3.0	-	6.3	3.0	-	-	-	6.7	-	6.9	6.7	3.7	3.4		3.7
	普 通	75.8	73.5	68.7	75.8	75.0	71.8	78.8	75.0	87.5	81.2	73.3	87.5	82.8	76.6	81.5	82.8		85.2
	悪 い	21.2	20.6	21.9	21.2	25.0	21.9	18.2	25.0	12.5	18.8	20.0	12.5	10.3	16.7	14.8	13.8		11.1
	D・I	-18.2	-14.7	-12.5	-18.2	-25.0	-15.6	-15.2	-25.0	-12.5	-18.8	-13.3	-12.5	-3.4	-10.0	-11.1	-10.4		-7.4
	修正値	-16.3	-13.0	-10.9	-16.3	-24.4	-17.9	-15.5	-21.9	-13.3	-16.8	-20.7	-12.8	-9.0	-19.0	-14.1	-12.8	-5.1	-10.9
	傾 向 値	-19.5		-16.9		-16.4		-17.3		-17.0		-16.4		-13.8		-10.6			
売 上 額	増 加	6.1	5.9	12.5	6.1	3.1	6.3	6.1	3.1	6.3	3.0	10.0	9.4	10.3	10.0	3.7	6.9		3.7
	変 ら ず	69.7	70.6	68.7	66.6	78.1	71.8	75.7	75.0	81.2	78.8	70.0	81.2	82.8	76.7	88.9	86.2		85.2
	減 少	24.2	23.5	18.8	27.3	18.8	21.9	18.2	21.9	12.5	18.2	20.0	9.4	6.9	13.3	7.4	6.9		11.1
	D・I	-18.1	-17.6	-6.3	-21.2	-15.7	-15.6	-12.1	-18.8	-6.2	-15.2	-10.0	0.0	3.4	-3.3	-3.7	0.0		-7.4
	修正値	-18.3	-20.5	-3.3	-20.5	-14.7	-13.3	-12.1	-13.2	-8.3	-18.2	-18.0	-3.5	-4.2	-9.8	-7.0	-0.7	-2.8	-9.2
	傾 向 値	-16.1		-15.7		-14.8		-13.8		-11.6		-10.5		-8.6		-5.2			
収 益	増 加	3.0	8.8	6.3	3.0	-	6.3	3.0	-	3.1	-	6.7	3.1	6.9	6.7	3.7	3.4		3.7
	変 ら ず	72.8	64.7	71.8	69.7	78.1	68.7	78.8	75.0	84.4	81.8	76.6	87.5	79.3	76.6	81.5	86.3		81.5
	減 少	24.2	26.5	21.9	27.3	21.9	25.0	18.2	25.0	12.5	18.2	16.7	9.4	13.8	16.7	14.8	10.3		14.8
	D・I	-21.2	-17.7	-15.6	-24.3	-21.9	-18.7	-15.2	-25.0	-9.4	-18.2	-10.0	-6.3	-6.9	-10.0	-11.1	-6.9		-11.1
	修正値	-22.7	-21.6	-11.1	-24.4	-16.9	-15.7	-18.5	-17.4	-13.5	-23.0	-16.1	-9.6	-8.5	-14.5	-15.6	-4.6	-7.1	-14.6
	傾 向 値	-21.3		-21.8		-21.3		-19.5		-17.0		-14.8		-12.3		-9.9			
価 格 動 向	料 金 価 格	0.0	14.7	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	3.2	6.0	10.0	3.2	6.9	6.7	7.4	0.0		3.7
	修正値	-3.0	13.1	8.7	1.1	5.1	1.9	0.5	2.0	1.1	4.6	8.8	2.2	6.4	6.1	5.6	0.9	-0.8	1.2
	傾 向 値	7.5		6.0		6.0		4.2		2.8		3.6		4.6		6.0			
	材 料 価 格	21.2	29.5	37.5	21.2	34.4	28.2	33.4	34.4	21.8	27.3	30.0	15.7	13.8	26.7	22.2	17.2		14.8
	修正値	19.5	27.6	36.3	18.0	34.5	26.6	29.6	34.8	22.4	25.3	26.0	15.8	13.5	22.8	17.5	16.0	4.0	12.8
	傾 向 値	31.3		31.2		32.3		32.2		31.7		30.8		27.3		23.4			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-9.1	-5.9	-15.6	-9.1	-12.5	-15.6	-15.2	-18.8	-9.4	-15.2	0.0	-9.4	-6.9	0.0	-7.4	-6.9		-3.7
	修正値	-12.5	-10.6	-10.2	-10.8	-10.3	-11.0	-17.4	-15.7	-14.0	-19.8	-2.2	-12.1	-6.3	-1.4	-9.2	-4.3	-2.9	-6.5
前 年 同 期 比	売 上 額	-18.2		-9.3		-9.3		-6.1		-3.1		-3.3		6.9		0.0			
	収 益	-24.2		-15.6		-18.8		-6.1		-12.5		-6.6		3.4		0.0			
雇 用	残 業 時 間	-6.1	-2.9	0.0	-6.1	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		-3.7
	人 手	-3.0	-2.9	-3.1	-3.0	-3.1	-3.1	-6.1	-3.1	-3.1	-6.1	-6.7	-3.1	-3.4	-6.7	-3.7	-3.4		0.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	6.1	5.9	9.4	9.1	6.3	6.3	3.0	6.3	3.1	6.1	3.3	3.1	3.6	6.7	3.7	3.6		3.7
	借入しない/借入の予定なし(%)	93.9	94.1	90.6	90.9	93.7	93.7	97.0	93.7	96.9	93.9	96.7	96.9	96.4	93.3	96.3	96.4		96.3
	借入難易度	10.7		0.0		-10.7		-6.9		-14.8		-15.4		-13.7		-13.6			
有効回答事業所数		33		32		32		33		32		30		29		28			

中小企業景況調査 転記表 2

令和7年10月～12月期

サービス業

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		令和6年		令和6年		令和6年		令和6年		令和7年		令和7年		令和7年		対 前期比	8年 1-3 月期	
	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期					
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-3.3	0.0	0.0	-3.3	0.0	0.0	0.0	
	実施した・予定あり	12.1	2.9	6.3	6.1	6.3	6.3	9.1	6.3	6.3	6.1	10.0	3.1	10.3	6.7	7.4	10.3	3.7	
	事業用土地・建物	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事務機器	50.0	-	-	-	-	50.0	33.3	50.0	-	-	-	-	33.3	50.0	-	33.3	-	
	車両	50.0	-	100.0	50.0	100.0	50.0	66.7	50.0	100.0	50.0	66.7	100.0	66.7	50.0	100.0	33.3	100.0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	33.3	-	-	-	-	-	33.3	-
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	実施しない・予定なし	87.9	97.1	93.7	93.9	93.7	93.7	90.9	93.7	93.7	93.9	90.0	96.9	89.7	93.3	92.6	89.7	96.3	
	経営 上の 問題 点 (%)	売上の停滞・減少	24.2		31.3		31.3		33.3		34.4		23.3		17.2		17.9		
人手不足		3.0		9.4		3.1		3.0		-		3.3		-		3.6			
同業者間の競争の激化		24.2		28.1		31.3		24.2		21.9		30.0		34.5		28.6			
大企業との競争の激化		9.1		6.3		6.3		6.1		6.3		6.7		6.9		7.1			
合理化の不足		-		3.1		3.1		-		-		3.3		3.4		3.6			
利幅の縮小		3.0		9.4		9.4		6.1		6.3		6.7		6.9		7.1			
取扱事務の陳腐化		3.0		3.1		-		-		-		-		-		-			
材料価格の上昇		24.2		34.4		37.5		33.3		34.4		26.7		17.2		17.9			
料金の値下げ要請		-		-		-		-		-		-		-		-			
人件費の増加		6.1		3.1		3.1		9.1		6.3		10.0		3.4		3.6			
人件費以外の経費の増加		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4		3.6			
技術力の不足		-		3.1		-		-		-		3.3		-		-			
取引先の減少		-		-		-		-		-		-		3.4		3.6			
商圏人口の減少		3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		6.7		3.4		3.6			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		-		3.6			
駐車場の確保難		-		-		-		-		-		-		-		-			
店舗・設備の狭小・老朽化		3.0		-		-		-		-		3.3		6.9		7.1			
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-			
天候の不順		-		-		-		-		-		-		-		-			
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退		-		-		-		-		-		-		-		-			
その他		-		-		-		-		-		-		-		-			
問題なし		42.4		25.0		31.3		39.4		40.6		33.3		44.8		39.3			
重点 経営 施策 (%)	販路を広げる	21.2		25.0		21.9		21.2		21.9		30.0		27.6		32.1			
	経費を節減する	33.3		46.9		46.9		48.5		46.9		43.3		41.4		39.3			
	宣伝・広告を強化する	12.1		18.8		18.8		15.2		12.5		6.7		10.3		17.9			
	新しい事業を始める	-		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4		3.6			
	店舗・設備を改装する	3.0		3.1		3.1		3.0		-		-		3.4		3.6			
	提携先を見つける	3.0		3.1		-		-		-		3.3		-		-			
	技術力を強化する	3.0		9.4		15.6		9.1		6.3		10.0		6.9		3.6			
	機械化を推進する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	人材を確保する	3.0		-		-		3.0		-		6.7		-		-			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	労働条件を改善する	-		-		-		-		-		-		-		-			
	不動産の有効活用を図る	3.0		3.1		3.1		3.0		3.1		3.3		3.4		3.6			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
特になし	48.5		31.3		34.4		39.4		46.9		43.3		48.3		42.9				
有効回答事業所数	33		32		32		33		32		30		29		28				

江東区 中小企業の景況

(令和7年度第3四半期 江東区中小企業景況調査報告書)
令和7年10月～12月期

- 【発行】 江東区地域振興部経済課
〒135-8383 東京都江東区東陽 4-11-28
TEL：03(3647)2332 ダイヤルイン
- 【分析】 株式会社 総合企画
〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-7-2
TEL：03(5829)6203 (代表)
- 【調査】 一般社団法人 東京都信用金庫協会
〒104-0031 東京都中央区京橋 3-8-1

写真素材(表紙)の出典：<https://www.photo-ac.com/main/detail/32808516>